

(3) 和装

本調査では、和装への興味関心や経験の有無等の把握を目的として2万人にウェブアンケート調査を実施した。

アンケートでは、和装を自分で着付けたことがある経験者、人に着付けてもらったことがある体験者、着物を着たことがない未経験者がいることが想定されることから、和装の経験・体験の有無について回答する設問を設けた。その上で、下記の表のように経験の深度に応じた専用の設問群を設けることで、各回答者の和装への興味関心の有無などの把握を行った。

■分野設問の項目

<p>「1. 着物を自分で着付けている（いた）、あるいは人に着付けている（着付けたことがある）」と回答した者への設問</p>	<p>C Q 1 : 和装を習おうと思ったきっかけ C Q 2 : 和装を始めた当初の習い方 C Q 2 補問 : 当初の習い方を選んだ理由 C Q 3 : 現在の継続状況 C Q 3 補問 1 : 和装を続けている理由 C Q 3 補問 2 : 和装から離れたきっかけや理由 C Q 4 : 和装を続けている（続けていた）年数 C Q 5 : 自分又は他者へ着付けをする機会 C Q 5 補問 : 他者に着付けをしてもらう機会 C Q 6 : 和装をする頻度 C Q 7 : 和装に関する月額費用 C Q 8 : 和装に関する興味関心や魅力</p>
<p>「2. 自分で着物の着付けはできないが、人に着付けてもらって着ている（着たことがある）」と回答した者への設問</p>	<p>C Q 9 : 和装を体験したきっかけ C Q 10 : 和装を体験した場 C Q 11 : 和装を習いやすい状況 C Q 12 : 和装に支払える月額費用 C Q 13 : 和装を習っていない理由 C Q 14 : 和装に対する印象やイメージ C Q 15 : 和装に関する興味関心や魅力</p>
<p>「3. 今まで着物を着たことはない」と回答した者への設問</p>	<p>C Q 16 : 参加してみたい和装の体験内容 C Q 17 : 参加しやすい和装の体験条件 C Q 18 : 和装を体験したことがない理由 C Q 19 : 和装に対する印象やイメージ C Q 20 : 和装に関する興味関心や魅力</p>

①単純集計の結果について

■全調査対象者への設問

着物を着たことがある者、全く着物を着たことがない者がどの程度いるのかを把握すると共に、自ら着付けることができるのか、あるいは人に着付けてもらって経験しているのか、どのような機会に着物を着ているのか、また、どのような点に着物の魅力や興味関心があるか等、これらの和装に関する現状の把握を行うため、本設問では、和装の経験の有無とあわせて、経験の深度を図る選択肢を設けて、実態の把握を行った。

和装の経験の有無

和装を「着物を自分で着付けている(いた)、あるいは人に着付けている(着付けたことがある)」(以下、「経験あり」)比率は11.0%(2,198人)、「自分で着物の着付けはできないが、人に着付けてもらって着ている(着たことがある)」(以下、「参加体験あり」)38.2%(7,642人)、「今まで着物を着たことはない」(以下「未経験」)は50.8%(10,160人)となった。

男女別では、女性の「経験あり」が17.3%、「参加体験あり」が55.5%と回答比率が高い一方、男性は「未経験」(75.4%)が高く、男女差が大きい。

また、年齢別では、年齢が高くなるにつれて「経験あり」、「参加体験あり」の回答比率が高くなる傾向がうかがえる。

		n=	(%)		
			着物を自分で着付けている(いた)、あるいは人に着付けている(着付けたことがある)	自分で着物の着付けはできないが、人に着付けてもらって着ている(着たことがある)	今まで着物を着たことはない
全体		20,000	11.0	38.2	50.8
性別	男	9,645	4.4	20.2	75.4
	女	10,202	17.3	55.5	27.1
	それ以外/答えたくない	153	5.2	17.6	77.1
年齢	18~20代	2,781	6.4	31.4	62.1
	30代	2,691	5.4	33.3	61.4
	40代	3,496	5.6	32.8	61.7
	50代	3,178	7.1	37.8	55.1
	60代	3,002	11.6	45.1	43.3
	70代以上	4,852	22.8	44.8	32.4

集計表 F Q 3 : 和装の経験の有無

■「着物を自分で着付けている（いた）、あるいは人に着付けている（着付けたことがある）」と回答した者への設問（CQ1～CQ8）

本設問群では、着物を自ら着付けることができると回答した者が、どのようなきっかけや機会を着付けを習うようになったのか、どのような点に興味関心や魅力を感じているのか等の実態を把握するためのアンケートを実施した。

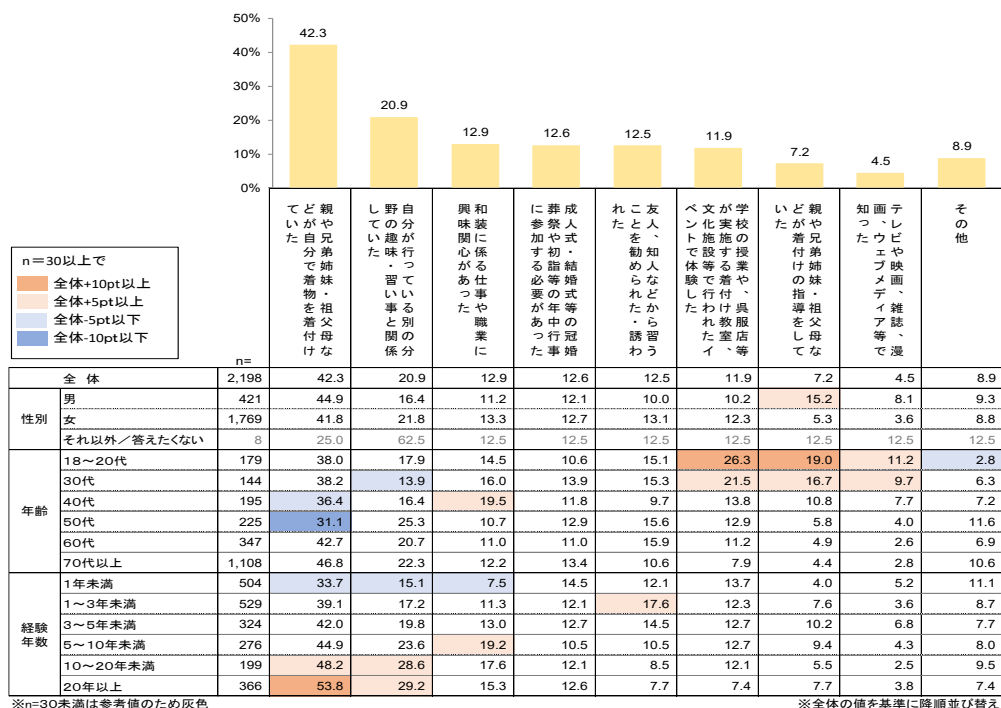
和装を習おうと思ったきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」の42.3%で、次いで「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」20.9%、「和装に係る仕事や職業に興味関心があった」12.9%、「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった」12.6%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」（15.2%）が高い。

次に年齢別では、10～30代で「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」、「学校の授業や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で行われたイベントで体験した」、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」の回答比率が高い傾向が見られる。

経験年数別で見ると、「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」については、経験年数が長いほど回答比率が高くなっている。



集計表 CQ1：和装を習おうと思ったきっかけ

（その他の内容）自分で着物を着たかった、仕事で着ていたから、和服（着物）が好き

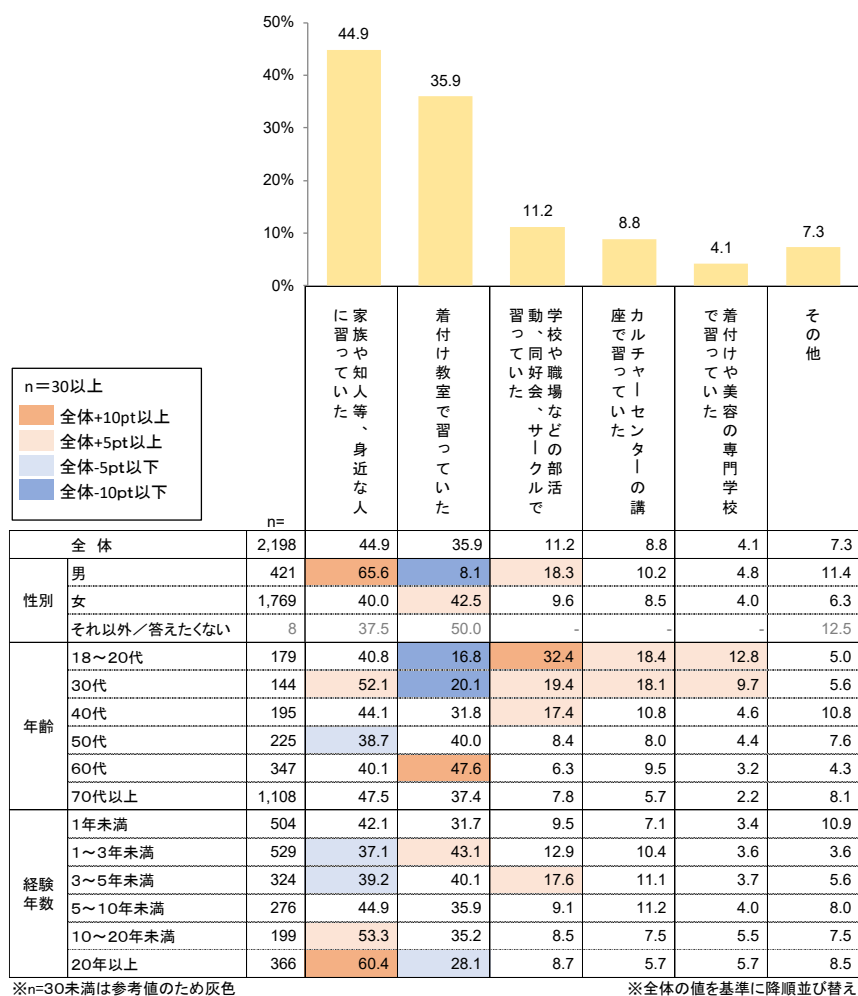
和装を始めた当初の習い方

全体平均で最も回答比率が高いのは「家族や知人等、身近な人に習っていた」の44.9%で、次いで「着付け教室で習っていた」35.9%、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルで習っていた」11.2%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では男性で「家族や知人等、身近な人に習っていた」(65.6%)、「学校や職場などの部活動、同好会、サークルで習っていた」(18.3%)の回答比率が高く、「着付け教室で習っていた」(8.1%)が低い。一方、女性では「着付け教室で習っていた」(42.5%)の回答比率が高くなっている。

次に年齢別では、10～30代で「学校や職場などの部活動、同好会、サークルで習っていた」、「カルチャーセンターの講座で習っていた」、「着付けや美容の専門学校で習っていた」の回答比率が高い傾向が見られる。

経験年数別では、年数が長いほど「家族や知人等、身近な人に習っていた」の回答比率が高くなっている。



集計表 C Q 2 : 和装を始めた当初の習い方

(その他の内容) 職場で習った、自力で覚えた、見よう見まね

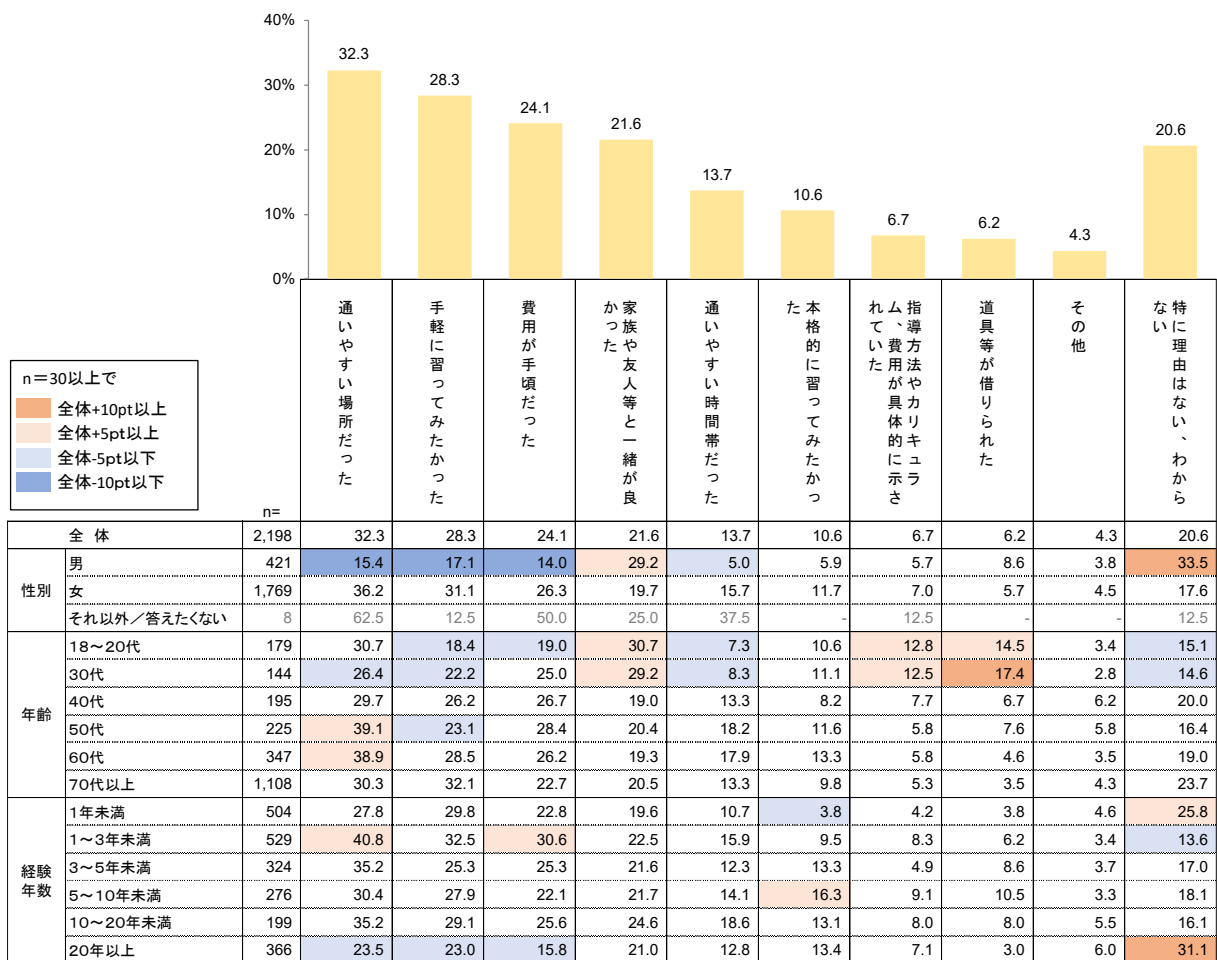
当初の習い方を選んだ理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所だった」の32.3%で、次いで「手軽に習ってみたかった」28.3%、「費用が手頃だった」24.1%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では男性で「家族や友人等と一緒に良かった」(29.2%)が高く、「通いやすい場所だった」(15.4%)、「費用が手頃だった」(14.0%)、「手軽に習ってみたかった」(17.1%)、「通いやすい時間帯だった」(5.0%)が低い。

また、年齢別では「家族や友人等と一緒に良かった」、「道具等が借りられた」、「指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていた」で18~30代で回答比率が高い傾向が見られる。

経験年数別では、1~3年未満の者では「通いやすい場所だった」(40.8%)、「費用が手頃だった」(30.6%)の回答比率が高い一方、20年以上の者の回答比率は低い。



集計表 CQ2補問：当初の習い方を選んだ理由

(その他の内容) アルバイト、仕事上で必要だった、習っていないけどいつの間にかできた、授業で習った

現在の継続状況

「現在も着付けを行っている」は 23.1% (507 人)、「現在は着付けを行っていない」は 76.9% (1,691 人) と、続けていないとの回答比率が高いことが分かる。

男女別で見た場合、男性で「現在も着付けを行っている」が 30.6%と高く、女性で 21.3%と低い。年齢別では年代が上がっていくに従って、継続率が下がっていく傾向が見られる。

経験年数別では、年数が長いほど「現在も着付けを行っている」の回答比率が高くなっている。

			(%)	
			現在も着付けを行っている	現在は着付けを行っていない
n=				
全体		2,198	23.1	76.9
性別	男	421	30.6	69.4
	女	1,769	21.3	78.7
	それ以外／答えたくない	8	12.5	87.5
年齢	18～20代	179	45.8	54.2
	30代	144	43.1	56.9
	40代	195	28.2	71.8
	50代	225	26.2	73.8
	60代	347	21.6	78.4
	70代以上	1,108	15.7	84.3
経験年数	1年未満	504	7.5	92.5
	1～3年未満	529	13.0	87.0
	3～5年未満	324	18.2	81.8
	5～10年未満	276	26.4	73.6
	10～20年未満	199	36.7	63.3
	20年以上	366	53.3	46.7

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 C Q 3 : 現在の継続状況

和装を続けている理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「日本の文化だから」の36.1%で、次いで「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」33.1%、「着物の着付け方や取り合わせ方など、奥深い文化をもっと知りたい」19.9%と続く。

全体平均の回答比率と、男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で「指導者や教授者として活動したい(している)」(36.4%)、「一緒に楽しむ仲間がいる」(28.7%)の回答比率が高く、「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」(17.1%)が低い。また、女性では、「指導者や教授者として活動したい(している)」(11.4%)が少なく、「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」(38.7%)が高い。

年齢別では10~30代で「指導者や教授者として活動したい(している)」、「一緒に楽しむ仲間がいる」、「着物の着付け方や取り合わせ方など、奥深い文化をもっと知りたい」という回答が多く、年齢が高いほど「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」の回答比率が高くなる。

経験年数別では、年数が長いほど「指導者や教授者として活動したい(している)」という回答比率が低くなっている一方、「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」の回答比率が高くなっている。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ3補問1：和装を続けている理由

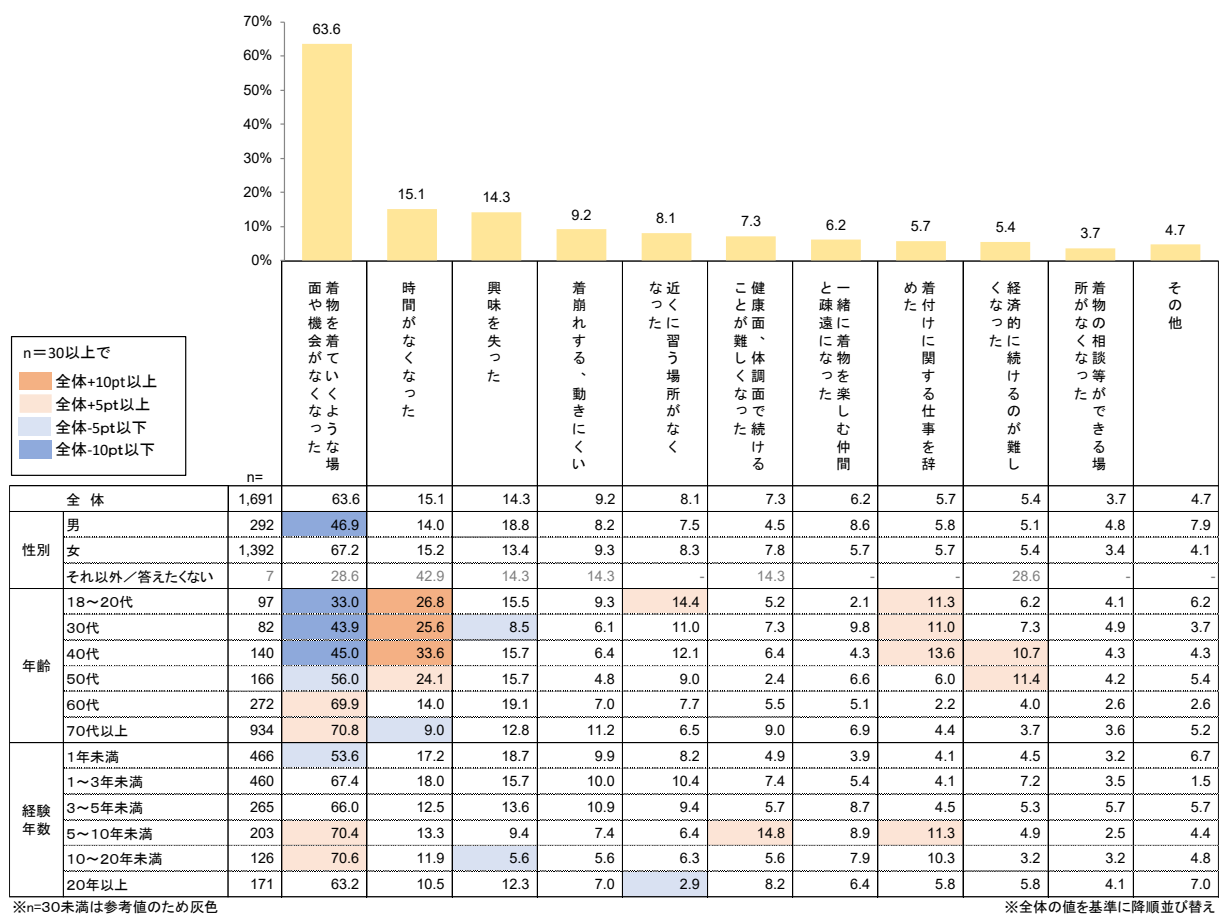
(その他の内容) 着物が好き、習い事の為(別の趣味で着ている)、着物を着るだけでオシャレに見られる

和装から離れたきっかけや理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」の63.6%で、次いで「時間がなくなった」15.1%で、「興味を失った」14.3%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」(46.9%)という回答比率が低い。

年齢別では、10～50代で「時間がなくなった」の回答比率が高く、「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」の回答比率が低い。一方、60代以上では「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」の回答比率が高くなっている。



集計表 C Q 3 補問 2 : 和装から離れたきっかけや理由

(その他の内容) 一通り習った・教室を卒業した、老齢なので、後始末が大変なので

和装を続けている（続けていた）年数

全体平均で最も回答比率が高いのは「1～3年未満」の24.1%で、次いで「1年未満」の22.9%、「3～5年未満」の14.7%と続く。全体平均で3年以上続けている（いた）人の比率は53.0%となっている。

男女別では、3年以上の継続している者が、男性で49.4%（421人中208人）、女性で53.9%（1,769人中954人）となっており、女性の方が長く続けている（いた）人の割合が高いことが分かる。

年齢別では10～30代で「1年未満」の回答比率が高い。

		n=	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	(%)
全体		2,198	22.9	24.1	14.7	12.6	9.1	16.7	53.0
性別	男	421	31.6	19.0	16.6	7.8	7.4	17.6	49.4
	女	1,769	20.8	25.3	14.2	13.7	9.4	16.5	53.9
	それ以外／答えたくない	8	37.5	25.0	25.0	12.5			37.5
年齢	18～20代	179	30.7	29.1	21.2	12.3	5.0		40.2
	30代	144	30.6	18.8	19.4	15.3	8.3	7.6	50.7
	40代	195	22.1	28.2	15.4	9.2	11.8	13.3	49.7
	50代	225	22.7	27.1	12.4	12.0	10.7	15.1	50.2
	60代	347	22.2	26.5	14.7	11.8	9.2	15.6	51.3
	70代以上	1,108	21.1	21.8	13.4	13.2	8.9	21.5	57.0

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 CQ4：和装を続けている（続けていた）年数

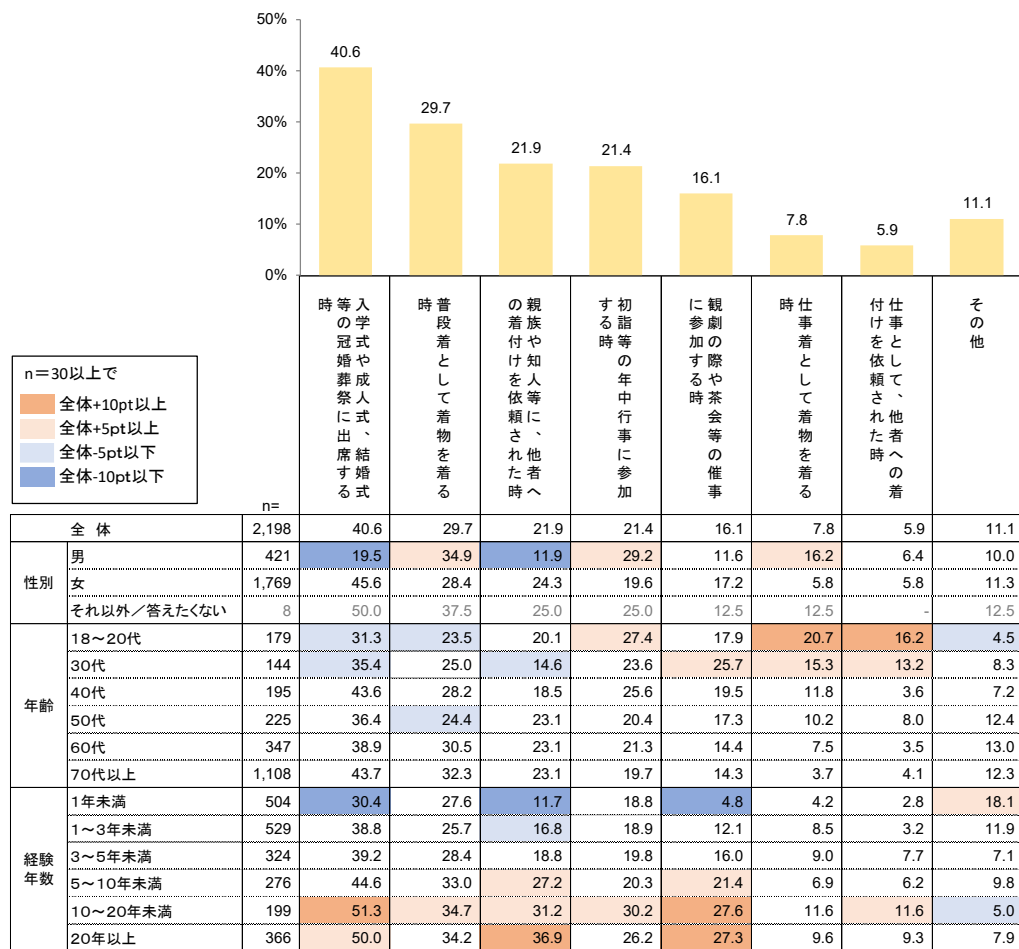
自分又は他者へ着付けをする機会

全体平均で最も回答比率が高いのは「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」の40.6%で、次いで「普段着として着物を着る時」29.7%、「親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時」21.9%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「普段着として着物を着る時」(34.9%)、「初詣等の年中行事に参加する時」(29.2%)、「仕事着として着物を着る時」(16.2%)の回答比率が高く、「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」(19.5%)が低い。

年齢別では18～20代で「仕事着として着物を着る時」「仕事として、他者への着付けを依頼された時」の回答比率が高い。

経験年数別では、経験年数が高いほど「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」、「観劇の際や茶会等の催事に参加する時」、「親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時」の回答比率が高くなる傾向が見られる。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ5：自分又は他者へ着付けをする機会

(その他の内容) 趣味・習い事の際、お祭り、旅行や観光の際に着物を着る時・旅館などの浴衣着

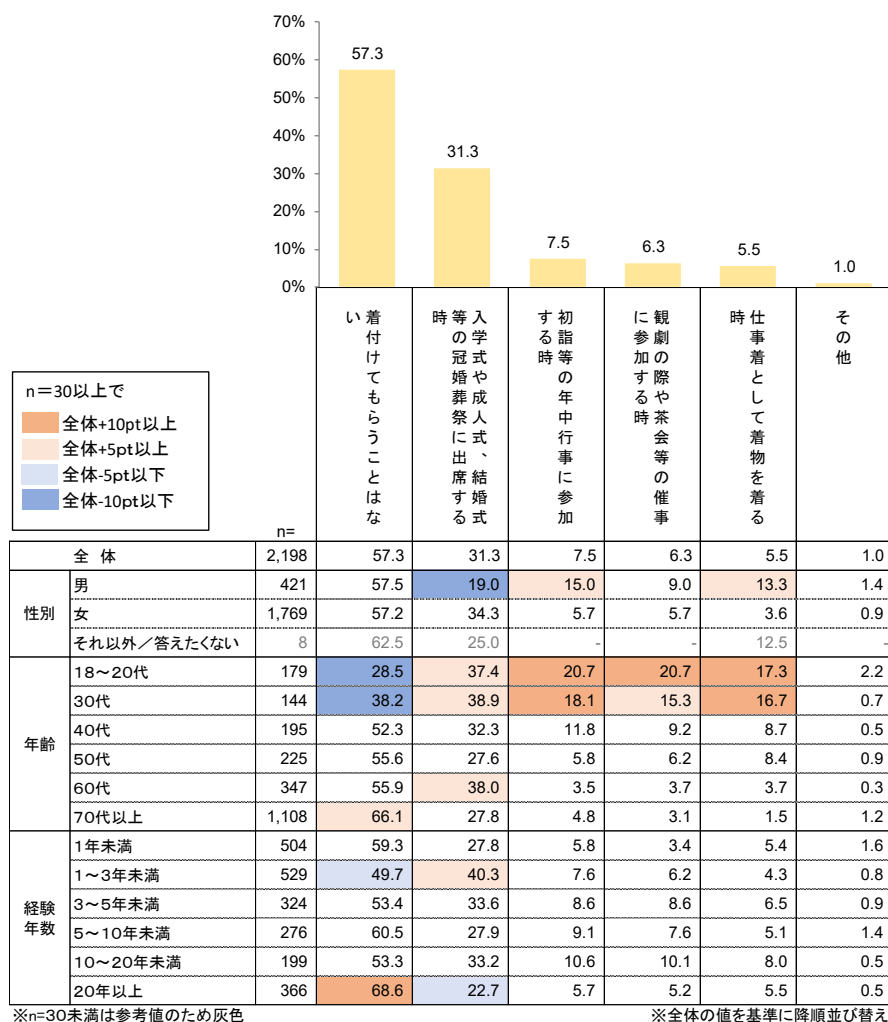
他者に着付けをしてもらう機会

全体平均で最も回答比率が高いのは「着付けてもらうことはない」の57.3%で、次いで「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」31.3%、「初詣等の年中行事に参加する時」7.5%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「初詣等の年中行事に参加する時」(15.0%)、「仕事着として着物を着る時」(13.3%)の回答比率が高く、「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」(19.0%)の回答比率が低い。

年齢別では、10～30代で「着付けてもらうことはない」という回答比率が全体平均より低く、ほかの選択肢の回答比率が平均より高い。

経験年数別では、20年以上の者は「着付けてもらうことはない」(68.6%)の回答比率が高く、普段から着付けに慣れ親しんでいるものと推察される。



集計表 C Q 5 補問：他者に着付けをしてもらう機会

(その他の内容) 習い事するとき(発表会)、あらたまった時、子供のイベントに合わせた写真撮影で

和装をする頻度

全体平均で最も回答比率が高いのは「年1回程度」の56.4%で、次いで「年数回程度」17.3%、「月数回程度」6.7%と続く。週1回以上活動している（いた）比率は13.9%（2,198人中305人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で週1回以上和装をしている（いた）比率が18.8%（421人中79人）、女性で12.7%（1,769人中224人）となっており、男性の方が和装をする頻度が全体平均と比べると高い傾向にある。

年齢別では、年齢が若いほど週1回以上和装をしている（いた）比率が高い傾向が見られる。

また、経験年数別では、経験年数が1年未満の者で「年1回程度」（60.9%）の回答比率が高いほか、20年以上の経験年数の者では、「年数回程度」（29.5%）の回答比率が高い。

		n=	ほぼ毎日	週に2~3回	週1回程度	月数回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	(%)
全体		2,198	3.2	4.3	6.3	6.7	5.6	17.3	56.4	13.9
性別	男	421	7.6	6.7	4.5	7.8	7.8	15.7	49.9	18.8
	女	1,769	3.7	6.7	6.4	5.1	17.8	57.9	12.7	
	それ以外/答えたくない	8	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0			
年齢	18~20代	179	7.8	17.9	11.2	12.3	9.5	13.4	27.9	36.9
	30代	144	10.4	8.3	9.0	10.4	8.3	14.6	38.9	27.8
	40代	195	6.7	2.6	6.2	8.7	8.2	15.9	51.8	15.4
	50代	225	4.4	6.2	8.4	6.7	18.2	54.2	12.4	
	60代	347	4.4	5.2	4.9	3.7	21.3	61.7	8.4	
	70代以上	1,108	1.9	2.6	5.6	5.2	4.6	17.1	62.9	10.1
経験年数	1年未満	504	4.0	1.4	4.0	2.8	4.4	7.5	76.0	9.3
	1~3年未満	529	2.5	4.5	9.1	4.9	4.5	13.6	60.9	16.1
	3~5年未満	324	2.2	7.7	6.8	12.3	4.0	17.0	50.0	16.7
	5~10年未満	276	3.3	6.5	7.6	8.7	7.2	21.7	44.9	17.4
	10~20年未満	199	4.0	4.5	6.5	8.5	8.0	24.1	44.2	15.1
	20年以上	366	3.8	3.3	4.1	7.4	7.9	29.5	44.0	11.2

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 C Q 6 : 和装をする頻度

和装に関する月額費用

全体平均で最も多いのは月額「5,000円未満」の69.9%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」15.4%、「10,000円以上～15,000円未満」5.5%と続く。月額1万円以上支出している（いた）比率は14.7%（2,198人中323人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較した場合、まず男女別では、男性で月額1万円以上支出している（いた）割合が23.8%（421人中100人）と、女性の12.5%（1,769人中222人）より高い。

年齢別では、年齢が低いほど、月額1万円以上支出している（いた）割合が高いことが分かる。

経験年数別では、経験年数が1年未満の者は月額「5,000円未満」（84.3%）の回答比率が高い一方、経験年数が1～10年未満の者は月額5,000円以上支出している（いた）割合が高い。

		n=											(%)	
			5 0 0 0 0 円 未 満	15 0 0 0 0 円 未 満	11 5 0 0 0 円 未 満	21 0 5 0 0 円 未 満	22 5 0 0 0 円 未 満	32 0 5 0 0 円 未 満	33 5 0 0 0 円 未 満	43 0 5 0 0 円 未 満	44 5 0 0 0 円 未 満	54 0 5 0 0 円 未 満	5 0 0 0 0 円 以 上	合 計 0 0 0 0 0 円 以 上
全体		2,198	69.9	15.4	5.5	2.9	1.3	1.1	0.7	0.4	0.5	0.3	2.1	14.7
性別	男	421	65.1	11.2	7.1	5.2	1.9	1.7	1.4	1.0	1.4	0.5	3.6	23.8
	女	1,769	71.0	16.4	5.1	2.3	1.1	1.0	0.5	0.2	0.2	0.3	1.8	12.5
それ以外／答えたくない		8	87.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5
年齢	18～20代	179	45.3	17.9	16.2	3.9	5.6	1.1	1.1	1.1	2.2	1.1	4.5	36.9
	30代	144	48.6	20.1	10.4	8.3	1.4	1.4	3.5	0.7	1.4	-	4.2	31.3
	40代	195	64.1	13.3	6.2	3.1	2.1	3.6	1.0	0.5	1.0	0.5	4.6	22.6
	50代	225	66.2	16.9	4.9	4.0	1.8	1.3	0.9	0.9	-	0.4	2.7	16.9
	60代	347	75.5	15.0	2.6	3.2	-	1.4	-	0.3	-	-	2.0	9.5
	70代以上	1,108	76.7	14.5	4.1	1.6	0.7	0.5	0.4	0.1	0.2	0.3	0.9	8.8
経験年数	1年未満	504	84.3	9.1	3.2	1.2	0.8	0.2	0.4	-	-	-	0.8	6.5
	1～3年未満	529	67.1	20.8	6.2	2.5	0.8	0.8	0.6	0.2	0.4	-	0.8	12.1
	3～5年未満	324	60.2	18.5	7.7	3.1	3.4	2.2	0.9	1.2	0.9	-	1.9	21.3
	5～10年未満	276	60.9	18.1	6.9	6.5	1.4	1.1	1.1	-	0.7	0.7	2.5	21.0
	10～20年未満	199	63.8	16.1	5.5	3.5	-	2.0	0.5	1.0	1.5	1.0	5.0	20.1
20年以上	366	73.0	10.9	4.6	2.5	1.4	1.6	0.8	0.3	-	0.8	4.1	16.1	

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 CQ7：和装に関する月額費用

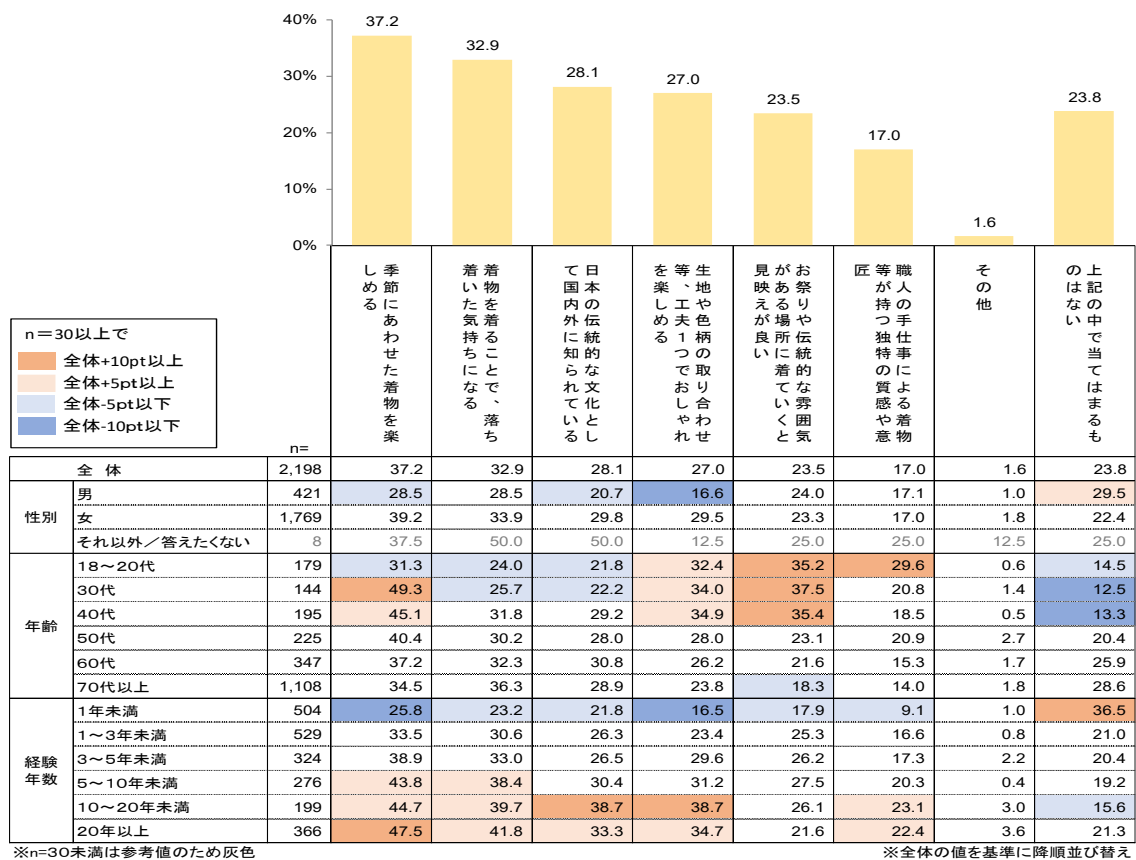
和装に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「季節にあわせた着物を楽しめる」の37.2%で、次いで「着物を着ることで、落ち着いた気持ちになる」32.9%、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」28.1%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「生地や色柄の取り合わせ等、工夫1つでおしゃれを楽しめる」(16.6%)の回答比率が全体平均と比べても特に低く、続いて「季節にあわせた着物を楽しめる」(28.5%)、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」(20.7%)、の回答比率が低い。

年齢別では10~40代で「生地や色柄の取り合わせ等、工夫1つでおしゃれを楽しめる」、「お祭りや伝統的な雰囲気がある場所に着ていくと見映えが良い」の回答比率が高く、10~30代で「着物を着ることで、落ち着いた気持ちになる」、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」の回答比率が低い傾向にある。

経験年数別では、経験年数が長い者ほど「季節にあわせた着物を楽しめる」、「職人の手仕事による着物等が持つ独特の質感や意匠」、「生地や色柄の取り合わせ等、工夫1つでおしゃれを楽しめる」、「着物を着ることで、落ち着いた気持ちになる」、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」の回答比率が高まる傾向が見られる。



集計表 CQ8：和装に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 体型を気にしないで着用が可能なところ、工作上便利、冬は暖かい

■「自分で着物の着付けはできないが、人に着付けてもらって着ている（着たことがある）」と回答した者への設問（CQ9～CQ15）

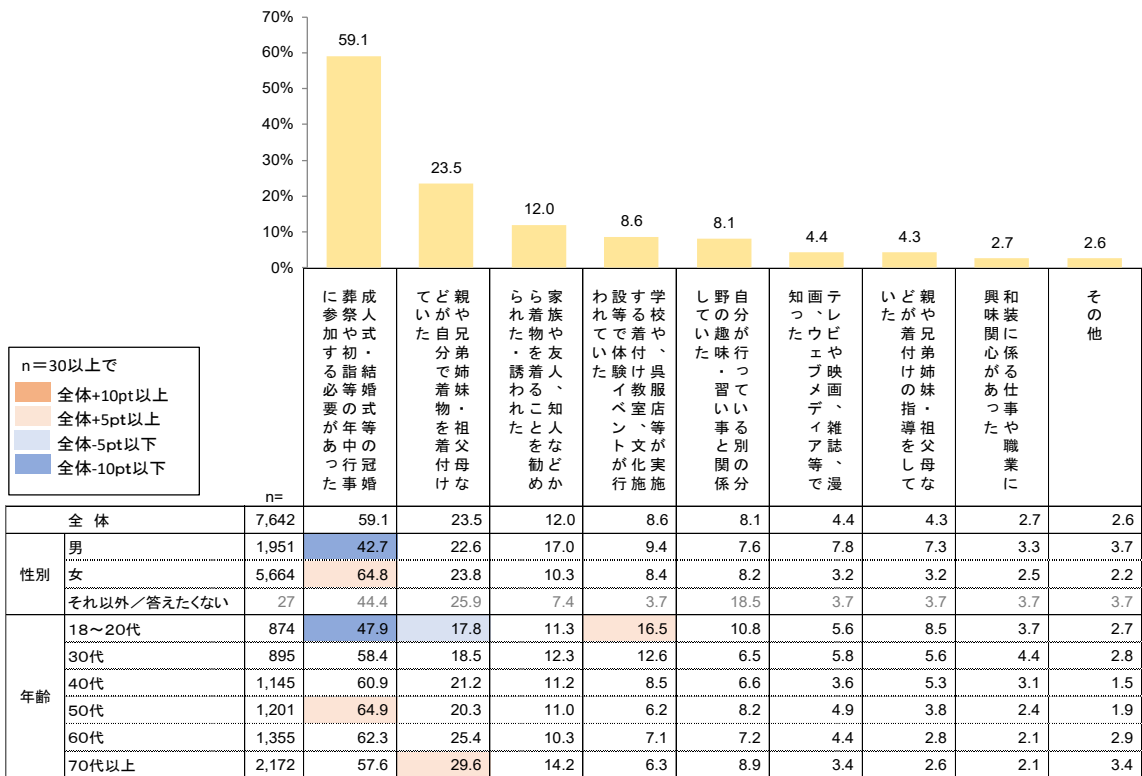
本設問では、人に着付けてもらって着物を着たことがあると回答した者が、どのようなきっかけや機会を着付けを体験したのか、また、どの程度和装に興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

和装を体験したきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった」の59.1%で、次いで「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」23.5%、「家族や友人、知人などから着物を着ることを勧められた・誘われた」12.0%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった」が42.7%と低い一方、女性が64.8%で高い。

年齢別では年齢が若い方が「学校や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で体験イベントが行われていた」の回答比率が高い傾向が見られる一方、高年齢になるほど「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」の回答比率が上がる傾向がある。



※n=30未満は参考値のため灰色 ※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ9：和装を体験したきっかけ

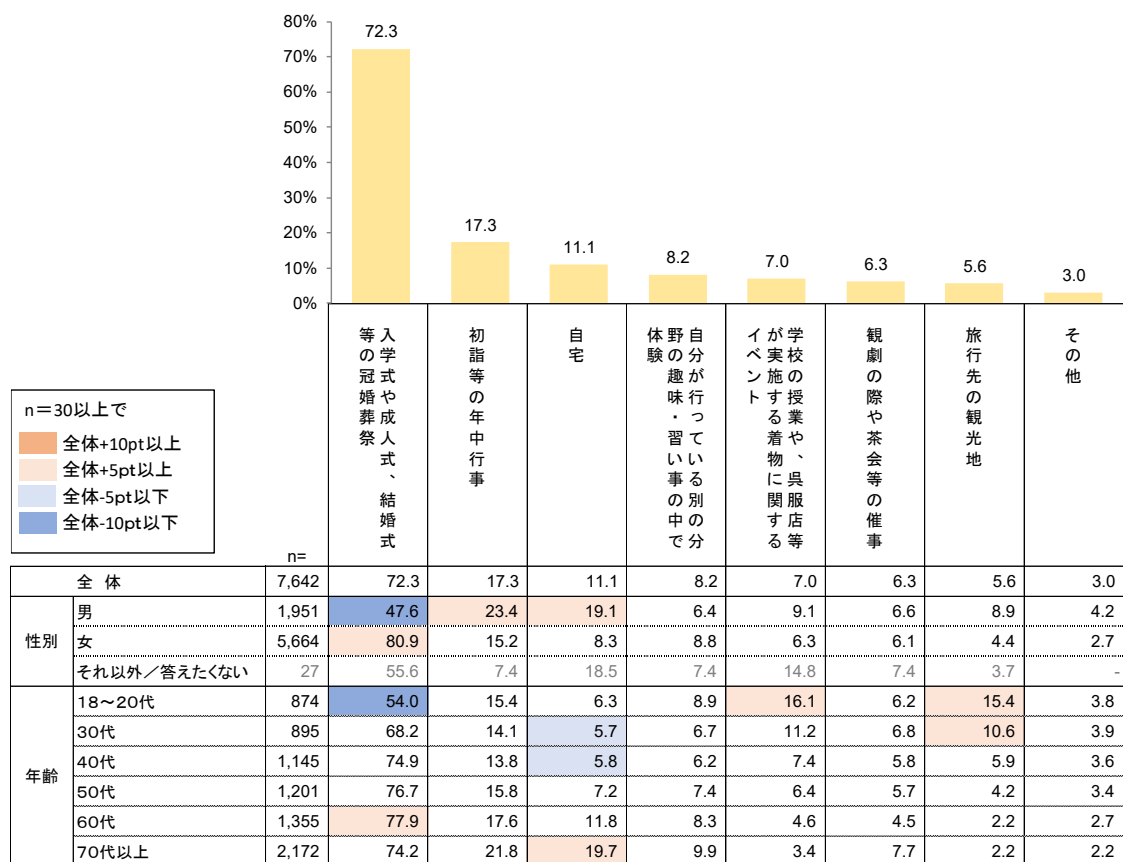
(その他の内容) 祭り・盆踊り、アルバイト・仕事で、着物が好きだった

和装を体験した場

全体平均で最も回答比率が高いのは「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭」の72.3%で、次いで「初詣等の年中行事」17.3%、「自宅」11.1%となる。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭」(47.6%)の回答比率が低く、「初詣等の年中行事」(23.4%)、「自宅」(19.1%)の回答比率が高い。

年齢別では、若いほど「旅行先の観光地」、「学校の授業や、呉服店等が実施する着物に関するイベント」という回答比率が高い一方、18~20代で「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭」の回答比率が大きく下回っている。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ10: 和装を体験した場

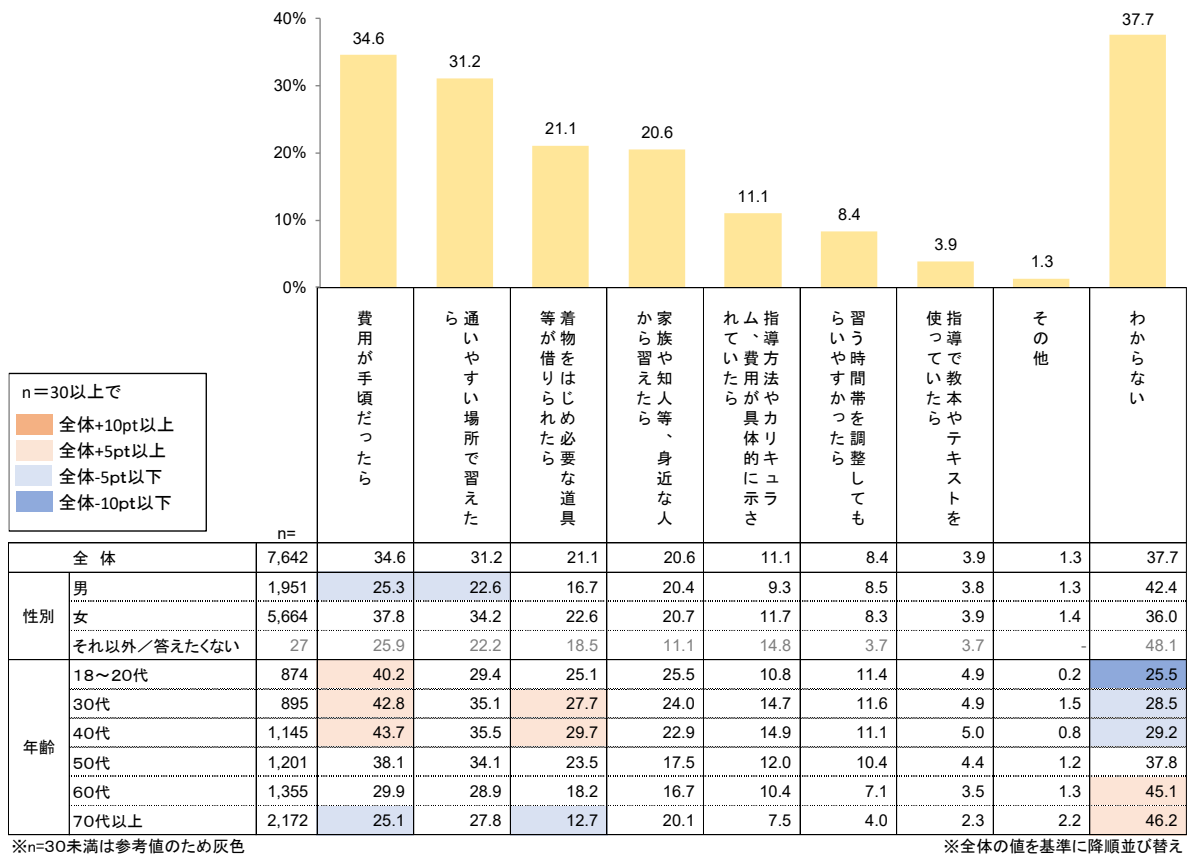
(その他の内容) お祭り (盆踊り、夏祭り)、仕事・アルバイト、卒業式

和装を習いやすい状況

全体平均で最も回答比率が高いのは「費用が手頃だったら」34.6%、次いで「通いやすい場所で習えたら」の31.2%、「着物をはじめ必要な道具等が借りられたら」21.1%、「家族や知人等、身近な人から習えたら」20.6%と並ぶ。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「費用が手頃だったら」(25.3%)、「通いやすい場所で習えたら」(22.6%)、の回答比率が低い。

また、年齢別では、10~40代で「費用が手頃だったら」、30~40代で「着物をはじめ必要な道具等が借りられたら」という回答比率が高い傾向が見られる。また、年齢が高くなるにつれて、「わからない」の回答比率が全体平均よりも高くなっている傾向も見て取れる。



集計表 CQ11：和装を習いやすい状況

(その他の内容) 着物の購入など勧誘系がなければ、日常に着る機会があったら習おうと思える、興味が湧いたら、障害者でも可能ならば

和装に支払える月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは「5,000円未満」の79.7%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」14.5%、「10,000円以上～15,000円未満」2.6%となった。月額1万円以上支払ってもいいと回答した比率は5.8%（7,642人中445人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別を見ると、月額1万円以上支払ってもいいという回答比率が男性で10.7%（1,951人中208人）、女性で4.1%（5,664人中232人）と、全体平均と比べると、男女で費用の考えに差が見られる。

また、年齢別では、年齢が若いほど月額1万円以上支払ってもいいという回答が増える傾向がある。

		n=												(%)
		5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上～15,000円未満	15,000円以上～20,000円未満	20,000円以上～25,000円未満	25,000円以上～30,000円未満	30,000円以上～35,000円未満	35,000円以上～40,000円未満	40,000円以上～45,000円未満	45,000円以上～50,000円未満	50,000円以上	合計	
全体		7,642	79.7	14.5	2.6	1.0	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	5.8
性別	男	1,951	72.0	17.4	4.6	2.1	1.8	0.8	0.6	0.2	-	0.2	0.4	10.7
	女	5,664	82.4	13.5	1.9	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	4.1
	それ以外／答えたくない	27	63.0	18.5	3.7	3.7	-	-	3.7	-	-	3.7	3.7	18.5
年齢	18～20代	874	65.8	19.6	6.2	2.3	2.4	0.9	1.0	0.7	0.2	0.5	0.5	14.6
	30代	895	74.0	15.8	3.9	1.6	1.9	1.3	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	10.3
	40代	1,145	77.8	15.2	2.9	1.7	1.0	0.3	0.5	0.2	-	-	0.3	7.0
	50代	1,201	82.7	12.6	2.8	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	0.1	-	0.3	4.7
	60代	1,355	82.7	14.1	1.5	0.8	0.1	0.1	0.1	-	-	0.1	0.4	3.2
	70代以上	2,172	85.0	12.9	1.0	0.5	0.3	0.1	0.0	-	-	0.1	0.1	2.1

※n=30未満は参考値のため灰色

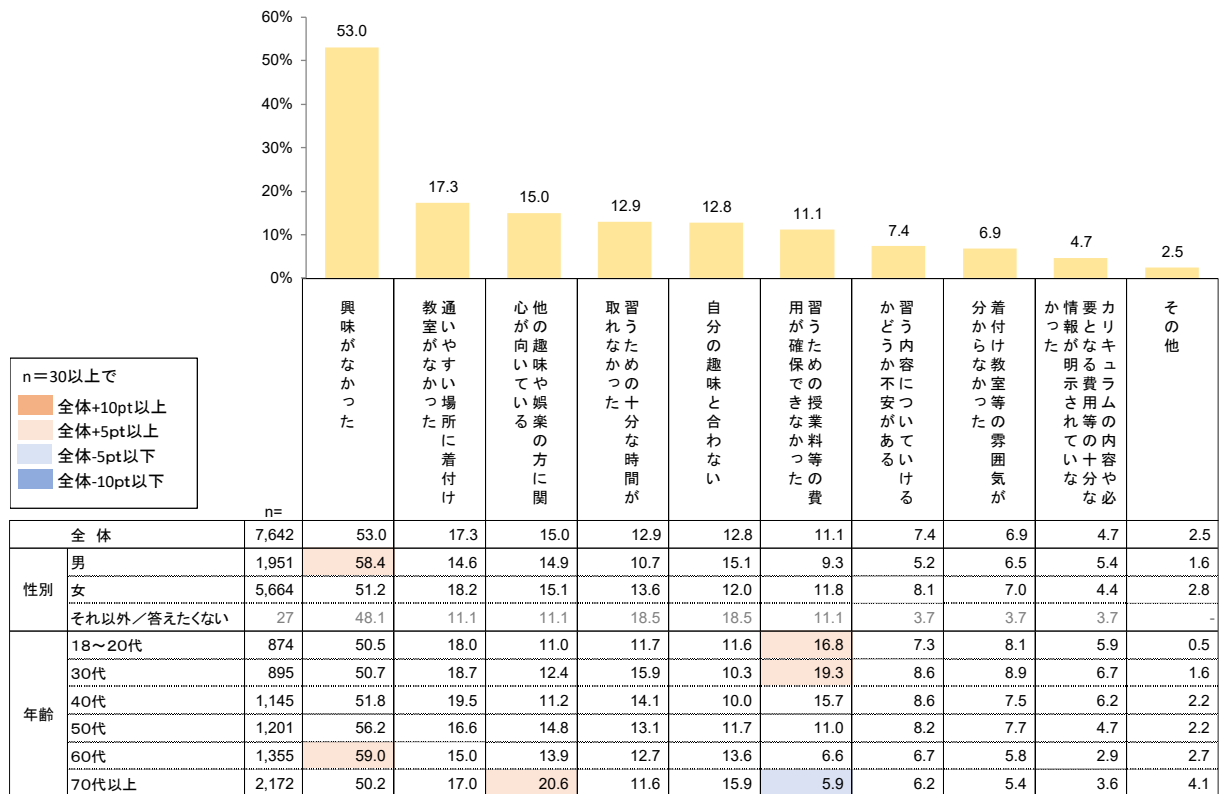
集計表 CQ12：和装に支払える月額費用

和装を習っていない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「興味がなかった」の53.0%で、次いで「通いやすい場所に着付け教室がなかった」17.3%、「他の趣味や娯楽の方に興味が向いている」15.0%となった。

男女別では、男性で「興味がなかった」(58.4%)の回答比率が高い。

また、年齢別では、10~30代で「習うための授業料等の費用が確保できなかった」という回答比率が高い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ13: 和装を習っていない理由

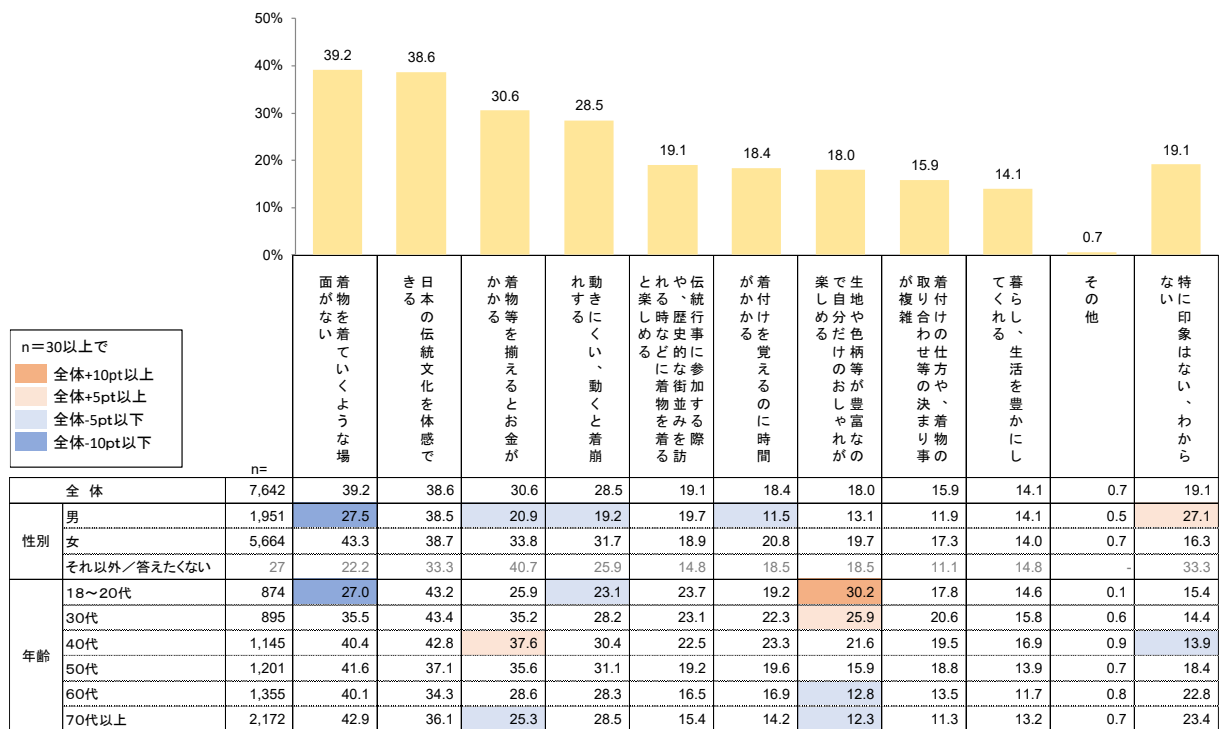
(その他の内容) 着る機会が少ない、着付けてくれる人がいたから、必要性がないから

和装に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「着物を着ていくような場面がない」の39.2%で、ほぼ同率で「日本の伝統文化を体感できる」の38.6%となり、次いで「着物等を揃えるとお金がかかる」30.6%、「動きにくい、動くと着崩れする」28.5%となった。

全体平均の回答比率と男女別の回答比率を比べた場合、男性で「着物を着ていくような場面がない」(27.5%)、「動きにくい、動くと着崩れする」(19.2%)、「着物等を揃えるとお金がかかる」(20.9%)、「着付けを覚えるのに時間がかかる」(11.5%)の回答比率が低い。

また、年齢別では、若いほど「生地や色柄等が豊富なので自分だけのおしゃれが楽しめる」の回答比率が高くなっている。



集計表 CQ14：和装に対する印象やイメージ

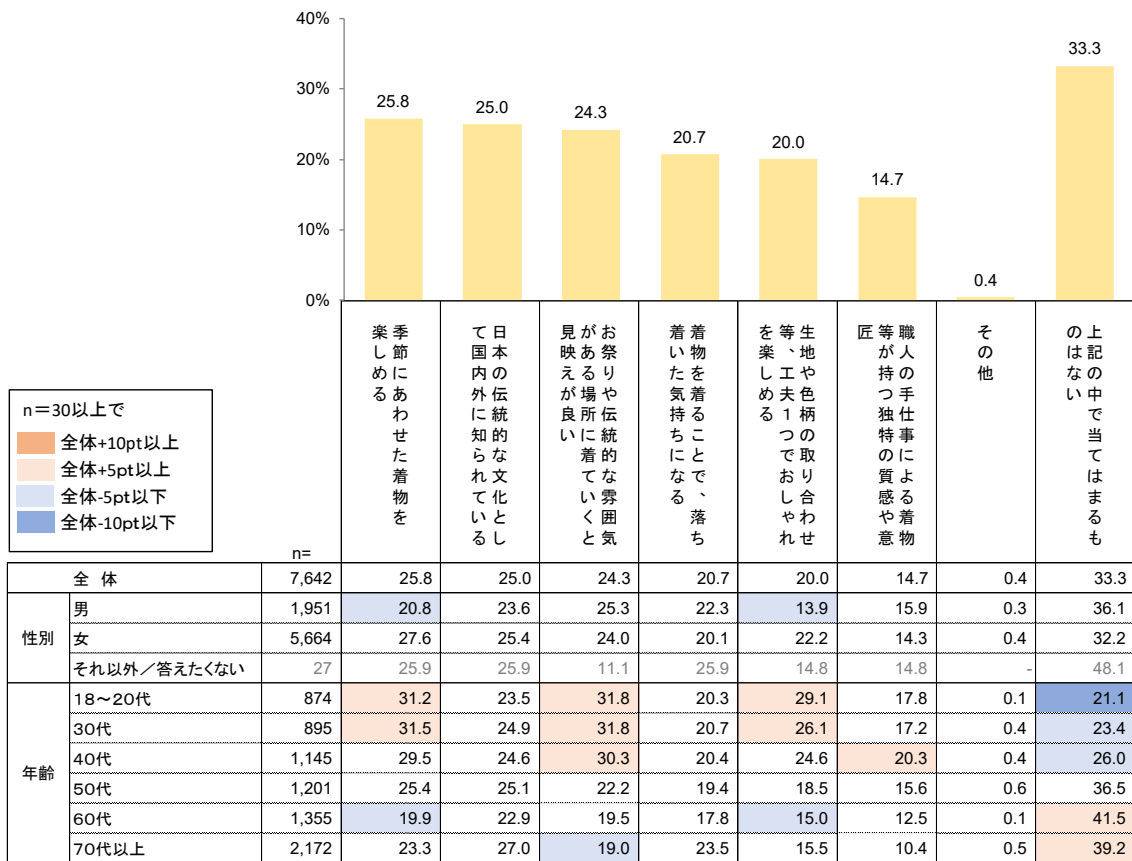
(その他の内容) 後片付けが大変、夏暑く冬は寒く感じる、和服を着られる・着ていると格好いい

和装に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の33.3%で、次いで「季節にあわせた着物を楽しめる」の25.8%、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」25.0%、「お祭りや伝統的な雰囲気がある場所に着ていくと見映えが良い」24.3%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で「季節にあわせた着物を楽しめる」(20.8%)、「生地や色柄の取り合わせ等、工夫1つでおしゃれを楽しめる」(13.9%)の回答比率が低い。

年齢別では、「生地や色柄の取り合わせ等、工夫1つでおしゃれを楽しめる」と「お祭りや伝統的な雰囲気がある場所に着ていくと見映えが良い」で若いほど回答比率が高い傾向が見られる。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 C Q15 : 和装に関する興味関心や魅力

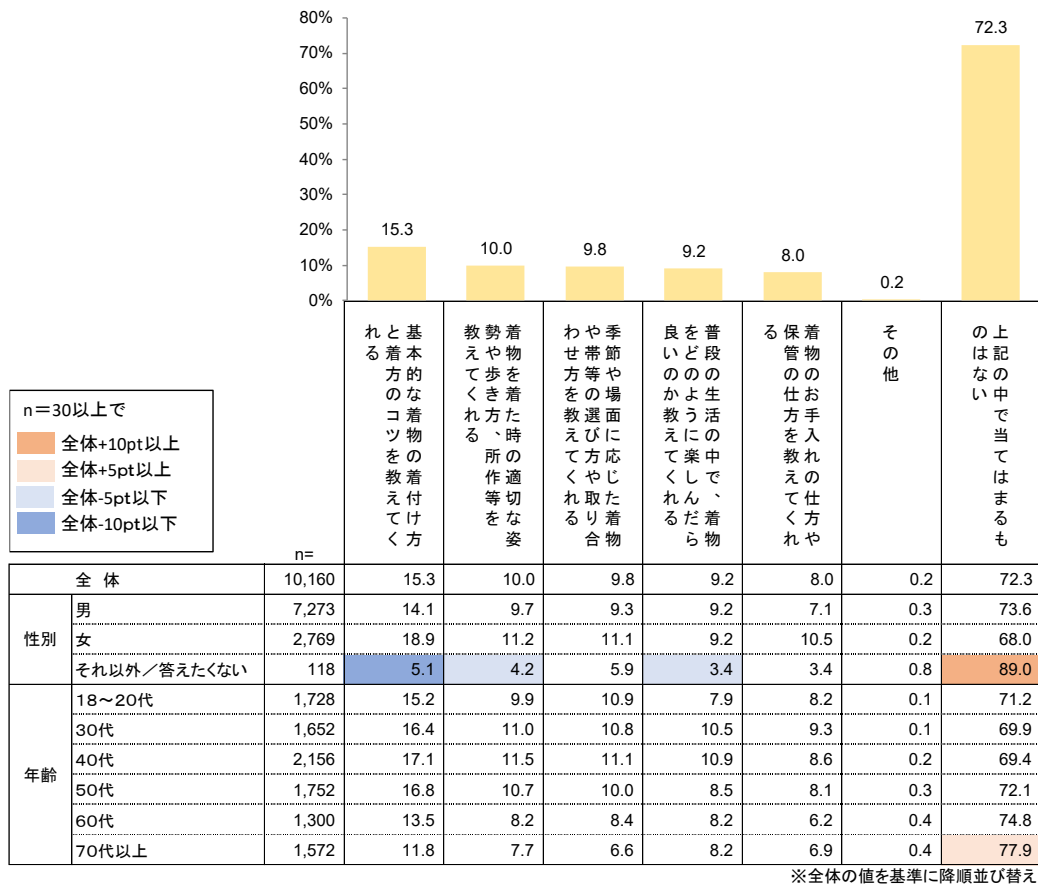
(その他の内容) 所作に気を使うようになる、上手に着ることができれば、身体が楽、最高礼装としての魅力

■ 「今まで着物を着たことはない」と回答した者への設問（CQ16～CQ20）

本設問では、今まで着物を全く着たことがないと回答した者が、着物の着付けを体験するならば、どのような内容や機会なら参加したいか、また、和装に対してどの程度、興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

参加してみたい和装の体験内容

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の72.3%で、次いで「基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる」15.3%、「着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる」10.0%、「季節や場面に応じた着物や帯等の選び方や取り合わせ方を教えてくれる」9.8%となった。

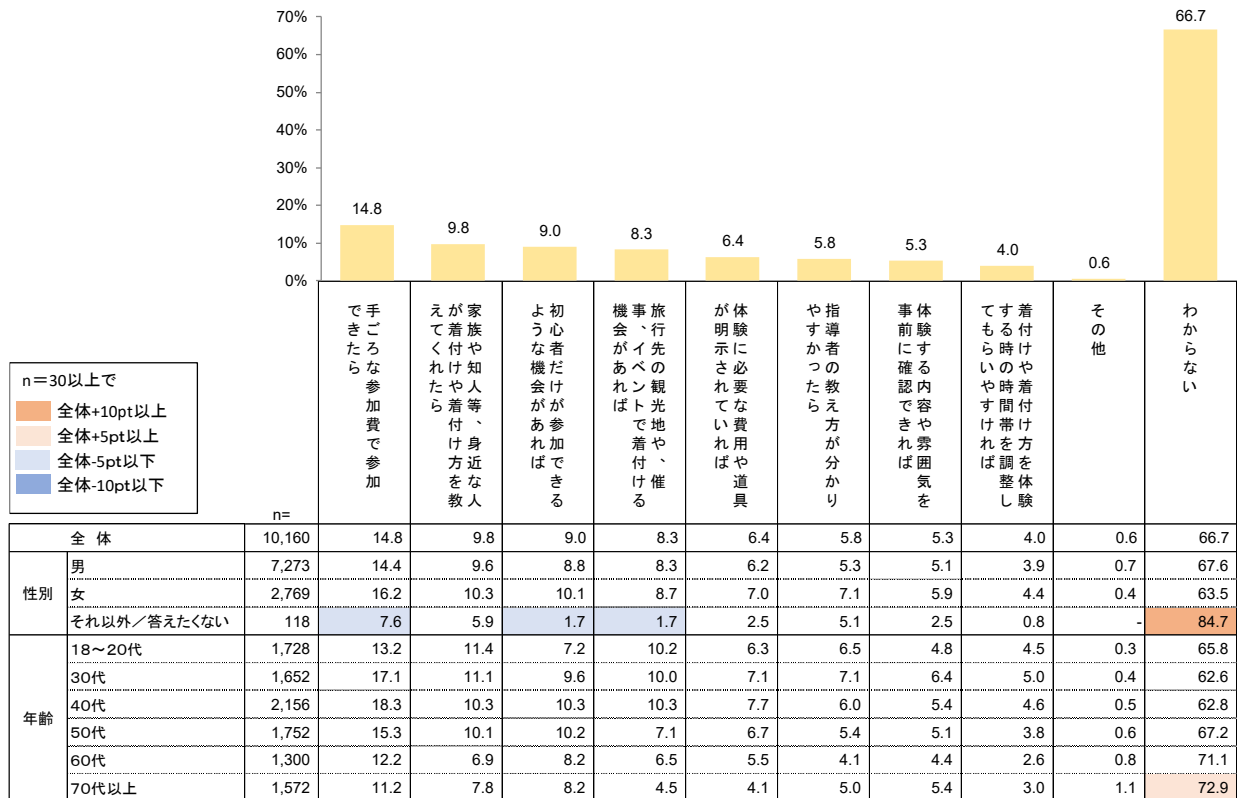


集計表 CQ16：参加してみたい和装の体験内容

（その他の内容）無料（値段が手ごろ）なら、喪服の着付けを教わりたい、着物を持っていかなくてもよい、何らかのイベントや城下町とか歩ける

参加しやすい和装の体験条件

全体平均で最も回答比率が高いのは「わからない」の66.7%で、次いで「手ごろな参加費で参加できたら」14.8%、「家族や知人等、身近な人が着付けや着付け方を教えてくれたら」9.8%、「初心者だけが参加できるような機会があれば」9.0%、「旅行先の観光地や、催事、イベントで着付ける機会があれば」8.3%となった。



※全体の値を基準に降順並び替え

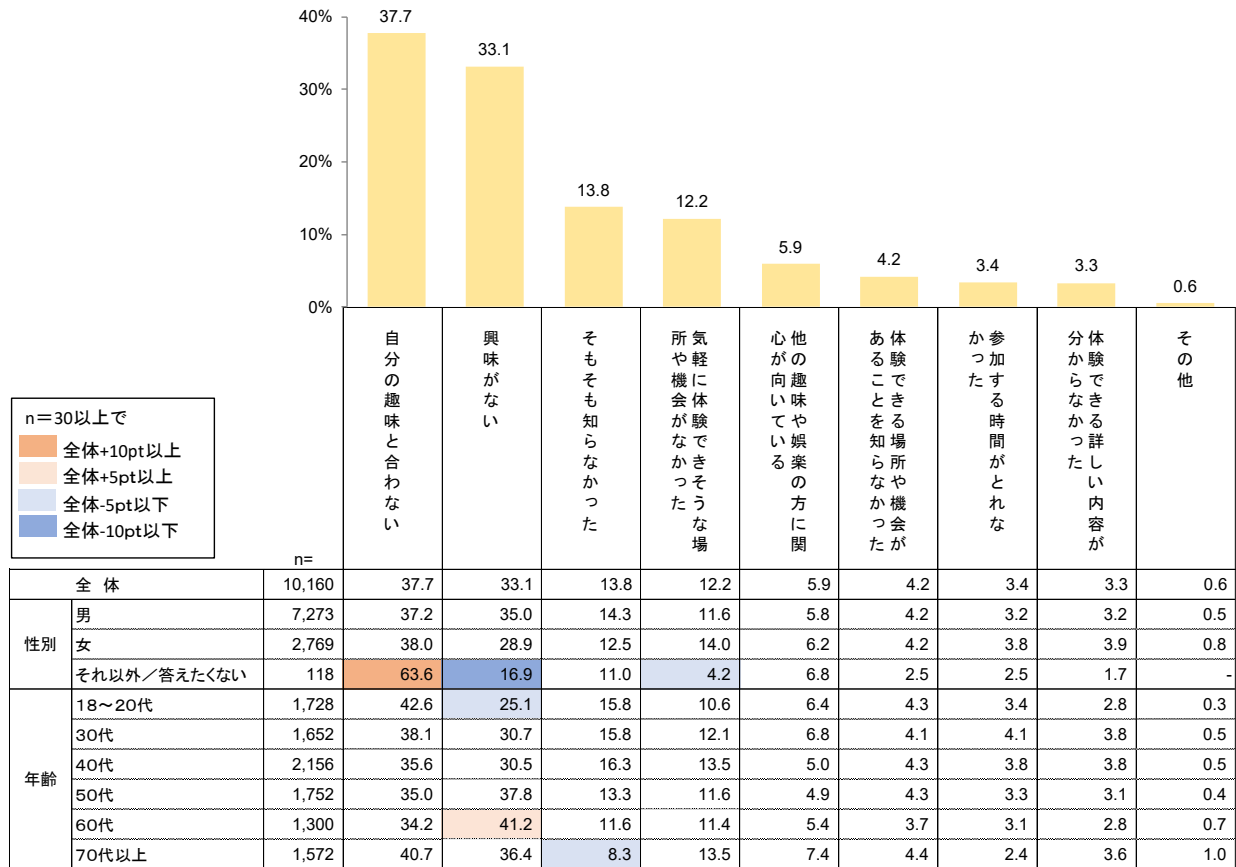
集計表 CQ17：参加しやすい和装の体験条件

(その他の内容) 無料体験、敷居が低ければ(厳しそうな人は嫌)、着物や帯・付属品を自分で用意する必要がなければ、障害持ちの人でも着やすい着物を開発してくれたら

和装を体験したことがない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「自分の趣味と合わない」の37.7%で、次いで「興味がない」33.1%、「そもそも知らなかった」13.8%となった。

年齢別で見ると、「興味がない」の回答比率が18～20代（25.1%）で低い一方、60代ではやや高い。



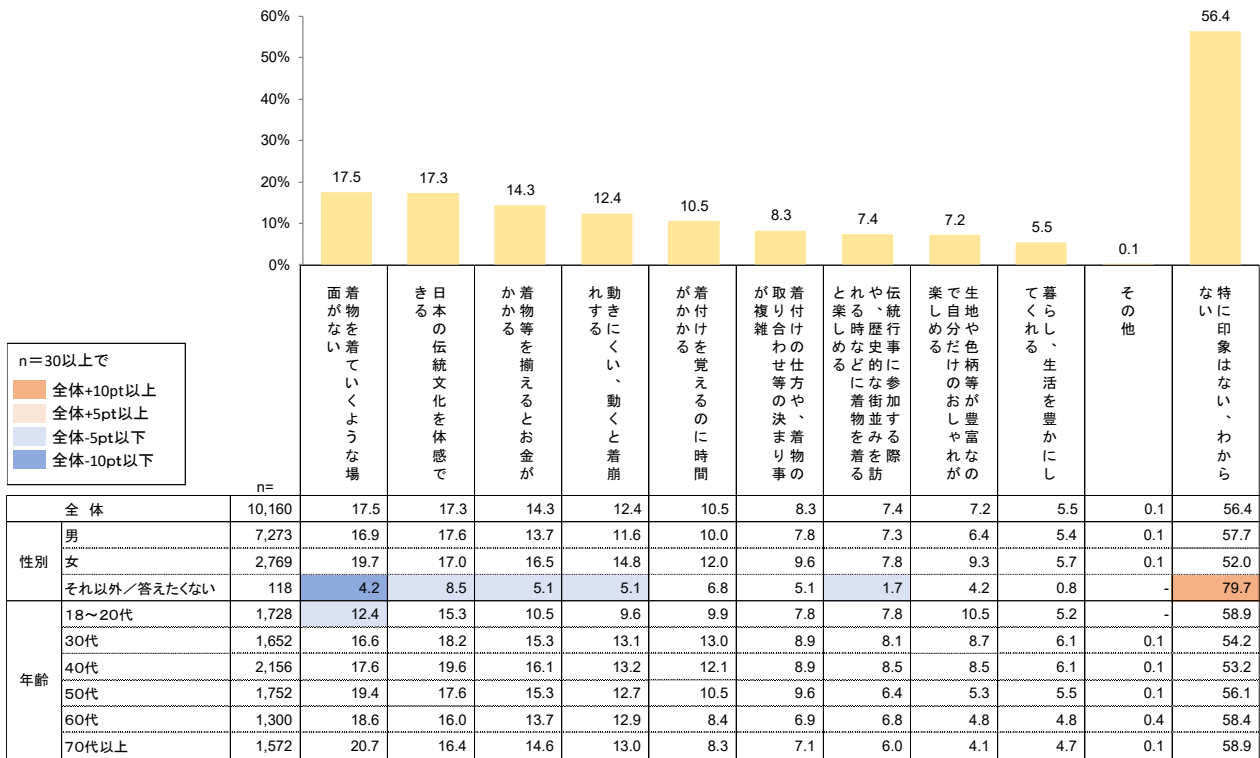
※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 CQ18：和装を体験したことがない理由

(その他の内容) お金がかかりそう、行動に制限がある(日常生活には向かない、窮屈な感じ)

和装に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「特に印象はない、わからない」の56.4%で、次いで「着物を着ていくような場面がない」17.5%、ほぼ同率で「日本の伝統文化を体感できる」17.3%となり、「着物等を揃えるとお金がかかる」14.3%と続いている。

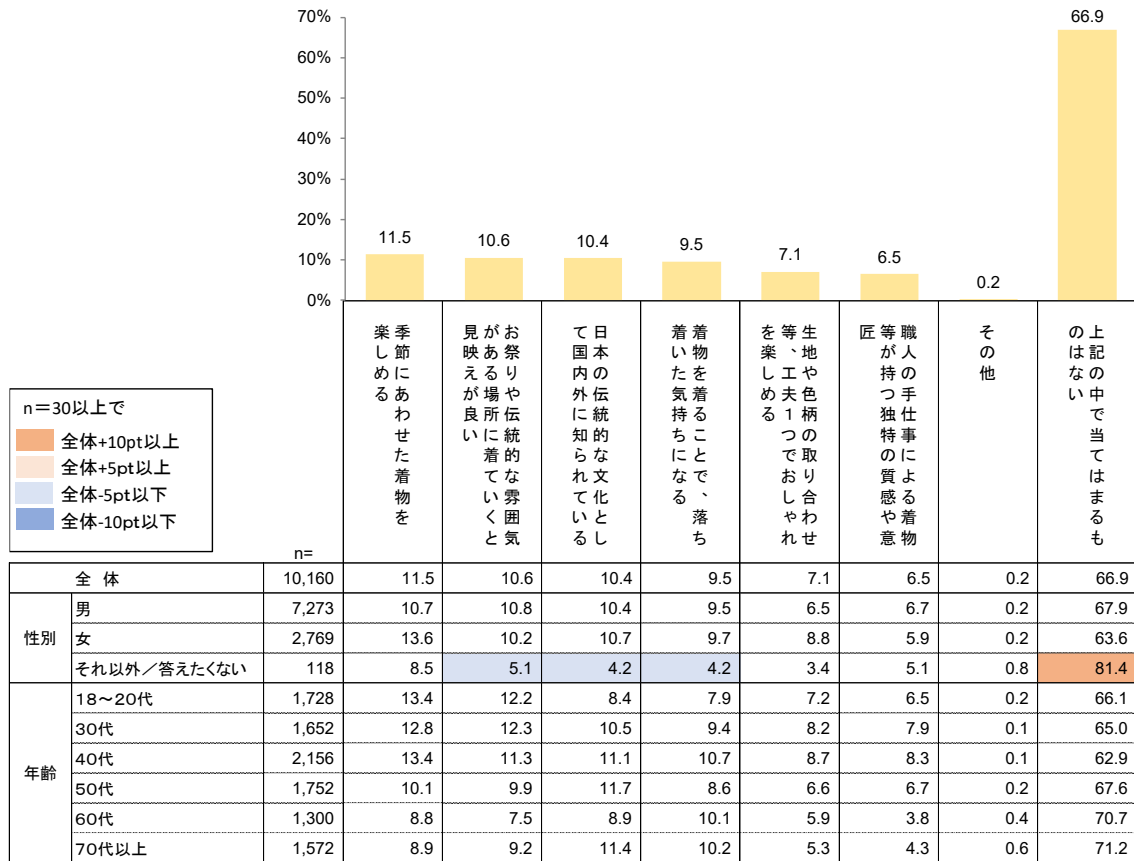


集計表 CQ19：和装に対する印象やイメージ

(その他の内容) 面倒 (髪や化粧と疲れそう)、男なので着る機会がない、講師がこわい、保管が大変

和装に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の66.9%で、次いで「季節にあわせた着物を楽しめる」の11.5%、「お祭りや伝統的な雰囲気がある場所に着ていくと見映えが良い」10.6%、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」10.4%と続く。



集計表 CQ20：和装に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 機会に合った着物を知りたい (訪問やパーティー・お茶など)、簡単に楽しめる方法、着物を安く入手でき着付けが分かる動画がある

②調査結果に基づく分析と考察

本節では、和装の振興施策の検討を主眼として、前掲の集計結果に加えてクロス集計等も行い、これらの結果について分析を行う。

和装に関して「経験あり」、「参加体験あり」、「未経験」、それぞれの回答者にどのような特徴が見られるのかを分析するため、「居住地」、「職業」、「同居家族」、「世帯年収」、「子供の頃の習い事」等の設問や設問間とのクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

回答者の特性や傾向について

■居住地、職業、同居家族、世帯年収とのクロス集計結果

属性については、性年齢以外に、居住地域、職業、同居家族、世帯年収についての設問をもうけている。

居住地域では、北陸で「参加体験あり」と回答した者がやや多く、沖縄で「経験あり」と回答した者が若干少ない傾向が見られる。

職業では、非正規、家族従業者、主婦・主夫など女性比率の高い職業で「参加体験あり」と回答した者が、また、主婦・主夫で「経験あり」と回答した者が多く、男女差を反映したものとなっている。

世帯年収については明確な傾向は見られない。

居住地・職業・同居家族×和装の経験の有無

		n=	FQ フィルタリング・パート (%)		
			「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全体		20,000	11.0	38.2	50.8
居住地	北海道	852	9.3	37.1	53.6
	東北	1,385	10.1	36.8	53.1
	関東	7,422	10.7	36.9	52.5
	北陸	816	9.9	43.3	46.8
	東海(中部)	2,349	11.6	39.0	49.4
	近畿	3,247	12.5	38.7	48.8
	中国	1,140	11.7	40.3	48.1
	四国	584	10.3	38.2	51.5
	九州	1,987	11.3	39.9	48.8
	沖縄	218	5.5	36.7	57.8
職業	正規の職員・従業員	6,411	5.9	28.2	65.9
	非正規の職員・従業員	2,803	9.3	44.4	46.3
	自営業主・自由業	1,239	11.5	35.4	53.0
	家族従業者	135	11.1	45.9	43.0
	主婦・主夫	3,987	21.0	56.7	22.3
	学生	512	5.7	37.3	57.0
	リタイア、無職	4,141	11.3	33.6	55.1
	その他	772	8.2	32.0	59.8
同居家族	ひとり暮らし	4,145	11.2	31.3	57.5
	核家族	13,277	11.2	41.0	47.8
	三世代家族	1,179	11.3	39.2	49.5
	上記以外で同居している人がいる	1,399	8.4	31.7	60.0

昨年度の世帯年収×和装の経験の有無

(%)

		FQ フィルタリング・パート			
		「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層	
全体		20,000	11.0	38.2	50.8
昨年度の世帯年収	100万円未満	991	10.0	28.7	61.4
	100万円以上～200万円未満	1,325	14.2	38.0	47.8
	200万円以上～300万円未満	2,030	13.0	37.9	49.1
	300万円以上～400万円未満	2,367	12.5	40.8	46.7
	400万円以上～500万円未満	1,937	10.7	39.0	50.2
	500万円以上～600万円未満	1,457	9.6	41.6	48.8
	600万円以上～700万円未満	1,096	10.7	36.7	52.6
	700万円以上～800万円未満	1,024	9.4	37.3	53.3
	800万円以上～900万円未満	702	11.1	39.9	49.0
	900万円以上～1,000万円未満	653	10.1	37.7	52.2
	1,000万円以上	1,525	11.1	39.5	49.4
分からない	4,893	9.7	37.7	52.5	

■子供の頃の習い事とのクロス集計結果

次に、和装の経験・体験の有無についての回答と、「子供の頃の習い事」に関する設問への回答とのクロス集計の結果を示す。

クロス集計を行った結果、「経験あり」と回答した者で、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」、「バレエやダンス」、「美術」、「囲碁や将棋」が全体平均を大きく上回る結果となっている。

一方、「参加体験あり」と回答した者では、「楽器演奏」、「バレエやダンス」、「美術」、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」、「囲碁や将棋」、「書道・習字・ペン字、そろばん」「武道」で全体平均より回答比率が高い。

子供の頃の習い事×和装の経験の有無

(%)

		FQ フィルタリング・パート			
		「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層	
全体		20,000	5.1	13.6	81.3
楽器演奏(ピアノやバイオリンなど)や歌唱(コーラスや声楽など)		4,615	9.5	20.8	69.6
バレエやダンス(バレエ、モダンダンスやコンテンポラリーダンスなど)		755	21.2	25.2	53.6
美術(絵画や版画、彫刻、工芸など)		939	16.4	25.6	58.0
伝統芸能や茶道・華道等の芸事		743	28.8	24.5	46.7
囲碁や将棋		221	25.3	29.4	45.2
書道・習字・ペン字、そろばん		8,121	7.1	17.9	74.9
スポーツ・武道		3,661	5.4	18.9	75.7
その他		449	4.5	24.5	71.0
していない		7,852	1.9	6.4	91.7

■スポーツや趣味、娯楽等の活動とのクロス集計結果

次に、スポーツや趣味、娯楽等（以下、趣味・娯楽等）の活動の内容や、これらの活動に費やす時間やお金に関する回答結果とのクロス集計結果と、そこから見る特徴や傾向を示す。

趣味・娯楽等として行っている活動内容のクロス集計結果からは、これらの活動を「特に何もしていない」人が、「未経験」と回答した者では25.3%いるのに対し、「経験あり」と回答した者では8.7%にとどまっており、「経験あり」と回答した者が積極的に趣味・娯楽に関する活動を行っていることが分かる。

趣味・娯楽等の活動内容の傾向としては、「経験あり」と回答した者の回答比率の中で、全体平均を下回っている項目は、スポーツの一部（「ジョギング・マラソン」「バスケットボール」のみ）、ギャンブル類（「ボートレース（競艇）」「中央競馬」「サッカーくじ」「パチンコ」）、メディア鑑賞（「SNS」「ゲームセンター」「テレビゲーム」「メディアでの音楽鑑賞」「動画鑑賞」）、「スポーツ観戦（テレビは除く）」となっており、ギャンブル類やメディア鑑賞に関しては消極的な傾向が見られる。

一方、日本の伝統的な文化に関しては、「お茶」（7.5%）、「お花」（7.0%）、「書道」（5.8%）、「邦楽・民謡」（2.4%）、「おどり（日舞など）」（2.2%）と平均を上回る回答比率となっている。

「参加体験あり」と回答した者では、「特に何もしていない」という回答比率が9.3%となっており、「未経験」と回答した者よりも趣味・娯楽等に関する活動への回答比率が高いが、「経験あり」と回答した者の余暇参加率と比較すると、やや下回っている。また、「経験あり」と回答した者に比べると、日本の伝統的な文化に関わる趣味・娯楽等の活動に対する回答比率は低い傾向にある。

次に、1ヶ月に使える趣味・娯楽等にかかる費用や活動する時間帯、活動に費やす時間とのクロス集計結果を示す。

まず、趣味・娯楽等にかかる費用については、「経験あり」と回答した者で平均月2万円以上支出している割合が13.7%と、「参加体験あり」と回答した者の10.0%、「未経験」と回答した者の12.2%を上回る。

次に、趣味・娯楽等の活動を行う時間帯を見ると、「経験あり」と回答した者は、「平日午前」（42.6%）、「平日午後」（43.9%）の活動率が高い。逆に休日の活動率は全体平均を下回る。

趣味・娯楽等に費やす月平均の時間を見ると、月2時間以上という回答が「経験あり」と回答した者で58.1%あるのに対し、「参加体験あり」と回答した者で53.5%、「未経験」と回答した者で52.4%となっており、「経験あり」と回答した者では趣味・娯楽等の活動に対して時間を使っている割合が高いことがうかがえる。

和装の経験の有無×趣味・娯楽等の活動状況

		共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況 (%)																	
		ジョギング・マラソン	バスケットボール	動画鑑賞（レンタル、配信を含む）	邦楽、民謡	スポーツ観戦（テレビは除く）	音楽鑑賞（レコード、配信、CD、FM、など）	書道	お茶	お花	おどり（日舞など）	テレビゲーム（家庭での）	ゲームセンター、ゲーム	パチンコ	サッカーくじ（toto）	中央競馬	ボートレース（競艇）	SNS、Twitter、YouTubeなど	特に何もしていない
n=30以上で	n=																		
全体	20,000	7.8	1.0	13.6	1.5	7.4	17.3	1.7	1.6	1.8	0.4	7.9	2.5	3.7	1.8	4.7	1.2	6.2	17.4
「経験あり」層	2,198	7.5	0.9	11.8	2.4	6.8	15.9	5.8	7.5	7.0	2.2	6.0	2.3	2.8	1.3	3.6	1.0	6.0	8.7
「参加体験あり」層	7,642	6.6	0.9	15.7	1.9	7.2	20.9	2.2	1.6	2.2	0.2	7.3	2.7	3.1	1.6	3.6	0.9	8.3	9.3
「未経験」層	10,160	8.8	1.1	12.4	1.0	7.6	14.8	0.5	0.3	0.3	0.1	8.8	2.3	4.3	2.0	5.7	1.4	4.7	25.3

※共通設問1は、分析で取り上げた選択肢のみ抜粋して掲載している。（以下同様）

和装の経験の有無×趣味・娯楽等に1ヶ月に使える費用

(%)

	n=	共通設問2 1ヶ月に使える趣味・余暇費用											合計
		5 0 0 0 円未 満	15 0 0 0 円未 満	11 5 0 0 円未 満	21 0 5 0 円未 満	22 5 0 0 円未 満	32 0 5 0 円未 満	33 5 0 0 円未 満	43 0 5 0 円未 満	44 5 0 0 円未 満	54 0 5 0 円未 満	5 0 0 0 円未 満	
全体	16,527	49.5	22.9	10.2	5.9	3.1	3.0	1.4	0.6	0.4	0.6	2.3	11.4
「経験あり」層	2,007	43.4	23.6	11.6	7.7	3.3	3.4	1.6	1.0	0.4	0.9	3.0	13.7
「参加体験あり」層	6,932	51.5	23.5	9.5	5.5	2.7	2.7	1.3	0.5	0.3	0.6	1.7	10.0
「未経験」層	7,588	49.3	22.2	10.5	5.9	3.4	3.1	1.3	0.6	0.5	0.6	2.7	12.2

和装の経験の有無×趣味・娯楽等を行う時間帯

(%)

	n=	共通設問3 1ヶ月に使える趣味・余暇時間帯							
		平日 午前	平日 午後	平日 夕方	平日 夜間	休日 午前	休日 午後	休日 夕方	休日 夜間
全体	16,527	30.6	30.1	15.8	18.8	34.9	43.7	21.2	15.5
「経験あり」層	2,007	42.6	43.9	17.6	15.6	27.8	32.7	14.3	9.9
「参加体験あり」層	6,932	35.0	33.7	15.2	18.2	32.7	41.3	19.0	14.1
「未経験」層	7,588	23.4	23.1	15.9	20.2	38.9	48.9	25.1	18.3

和装の経験の有無×趣味・娯楽等に費やす時間

(%)

	n=	共通設問4 趣味・余暇活動を行う時間										
		1 時間 未 満	21 時間 未 満	32 時間 未 満	43 時間 未 満	54 時間 未 満	65 時間 未 満	76 時間 未 満	87 時間 未 満	98 時間 未 満	19 0 時間 未 満	1 0 時間 以 上
全体	16,527	22.9	23.5	13.7	7.0	4.5	4.1	1.7	1.9	0.9	1.3	18.5
「経験あり」層	2,007	20.2	21.7	15.1	7.7	3.7	3.9	2.5	2.2	1.3	1.4	20.3
「参加体験あり」層	6,932	22.8	23.6	13.2	7.0	4.5	4.3	1.6	1.9	1.0	1.5	18.5
「未経験」層	7,588	23.7	23.8	13.7	6.7	4.8	4.0	1.6	1.7	0.7	1.2	18.0

■消費行動に関する意識や価値観に関するクロス集計結果

消費行動に関する意識や価値観の項目と和装の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

消費行動についての様々な価値観への回答比率を見てみると、「経験あり」と回答した者では、「上記で当てはまるものはない」を除く、全ての意見で回答比率が全体平均を上回っている。また、特に「家族や友人・知人の役に立ちたい」(35.6%)では全体平均を上回る回答比率となったほか、「困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい」と考える面や、「周りに合わせるより、自分の考えに基づいて物事を判断したい」、「流行っていないくても、自分が面白いと思ったものは試してみたい」等の項目で、平均を上回る回答比率となっている。

これに対し「参加体験あり」と回答した者では、「上記であてはまるものはない」を除いた全項目で平均を上回ることが同じだが、「リスクはできるだけ避けたい」(50.7%)の回答比率が高いことが特徴となっている。

一方、「未経験」と回答した者では、「上記であてはまるものはない」(32.5%)以外の全項目で回答比率が平均を下回る。

和装の経験の有無×消費行動に対する価値観

n=	共通設問5 消費行動に対する価値観																						
	たい自分周りにとの考えを主張するよ	ごとの考えに基づいた自	周りに合わせるより、自	たかない	チャンスと感したら逃し	たいリスクはできるだけ避け	家族や友人・知人の役に	決の役に立ちたい	環境問題・社会課題の解	要困っている人・助けが必	い周りの人から注目され	者業同士の一体感が大事だ	それなりやイベントの参	その時・その場でしか得	た流行りのものは試してみ	は試してみたい	流行っていないか、自	分が面白いと思っても、自	買ったものや、気持ちを	発信したい	自分が欲しいものに反	応が欲しいものに反	ない記であてはまるもの
全体	20,000	25.6	22.6	20.2	41.9	24.9	10.6	19.6	2.4	2.8	5.4	13.6	3.9	26.8	3.1	26.8	4.6	35.4	3.1	4.2	3.4	3.1	22.0
「経験あり」層	2,198	30.1	29.9	23.0	46.7	35.6	17.1	29.0	2.8	2.8	9.3	19.9	4.6	35.4	4.2	35.4	4.6	35.4	4.2	3.4	3.4	3.4	11.1
「参加体験あり」層	7,642	30.2	26.0	23.1	50.7	32.7	13.5	25.3	2.5	2.5	6.9	18.3	4.8	34.4	3.7	34.4	4.8	34.4	3.7	3.7	3.7	3.7	11.1
「未経験」層	10,160	21.2	18.5	17.4	34.3	16.7	7.0	13.2	2.2	2.2	3.3	8.7	3.1	19.2	2.5	19.2	3.1	19.2	2.5	2.6	2.6	2.6	32.5

■ 普段接するメディアとのクロス集計結果

回答者が普段接するメディアと和装の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

「経験あり」と回答した者では、「動画投稿サイト」、「SNS」、「紙のマンガ／マンガ雑誌」、「電子版のマンガ」、「有料動画サイト」以外で回答比率が全体平均を上回っており、地上波・BS放送、ラジオ、新聞や紙の書籍への接触が高いことが分かる。

一方、「参加体験あり」と回答した者では、全体平均を大幅に上回る回答比率は見られないが、インターネットや動画投稿サイト、SNSなど、インターネットに関連するメディア接触も含めて、幅広くメディアに接していることがうかがえる。

逆に「未経験」と回答した者は、全てのメディアにおいて回答比率が低く、「上記のメディアはあまり見ていない」(18.1%)のみ全体の回答比率を上回るという結果になった。

和装の経験の有無×接触メディア

n=	共通設問6 接触メディア																
	Bテレビ(民放の地上波)	波テレビ(BS)	チャンネルCATVや衛星放送	ラジオ(インターネットを除く)	新聞(電子版含む)	雑誌・タウン誌(インターネット経由を除く)	むなど(アプリ・ネット経由を含む)	サイターネット(YouTube)	動画投稿サイト(YouTube)	oars	SNS(Instagram、Twitter、Facebook、TikTok)	紙の書籍	電子書籍	紙のマンガ／マンガ雑誌	電子版のマンガ	xizdon	有料動画サイト(Amazon、Netflixなど)
全体	20,000	69.5	41.7	10.2	14.3	28.5	7.5	46.1	33.7	28.5	20.4	6.0	6.8	6.4	6.4	11.9	10.8
「経験あり」層	2,198	74.6	55.8	14.5	19.8	41.3	10.6	49.1	28.0	26.4	32.3	7.1	6.3	5.2	5.2	11.8	3.7
「参加体験あり」層	7,642	77.5	49.2	11.5	15.5	33.6	9.9	52.3	36.0	33.1	25.0	6.6	7.6	7.6	7.6	14.1	3.1
「未経験」層	10,160	62.5	33.0	6.2	12.1	21.8	5.1	40.8	33.1	25.4	14.3	5.3	6.3	5.7	5.7	10.2	18.1

以上のクロス集計結果と、「①単純集計の結果について」で示した回答者の年齢・性別・経験年数とのクロス集計の結果も踏まえ、和装の「経験あり」「参加体験者あり」「未経験」、それぞれの回答者の特徴や傾向は以下のとおりになる。

1) 着物を自ら着付けることができると回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性の方が男性よりも経験者の総数が多く、年齢別で見た場合、70代以上が最も多く、次いで60代、50代、40代以上と続いている。

次に経験者は、子供の頃の習い事として伝統的な文化に係る分野を習っていたと回答している者が多く、また、趣味・娯楽等の活動に積極性があり尚かつ伝統的な文化に係る趣味への嗜好性の高さがうかがえる。消費行動への意識については、家族や知人、困っている人がいれば助けたい・役に立ちたいと考え、自らの考えで判断すると言った価値観を持っている者が全体平均と比べると多い傾向が見える。普段のメディア接触については地上波・BS放送、ラジオ、新聞や紙の書籍への接触率が高い傾向にあるといえる。

2) 着物を着付けてもらった経験があると回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性の方が男性よりも圧倒的に着物を着たことがある総数が多く、年齢別で見た場合は、70代以上が最も多く、次いで60代以上、50代と続いている。

次に体験者は、子供の頃の習い事の経験が多い傾向にあり、美術やダンス、囲碁・将棋については、経験者よりも回答比率が高い一方、茶道や華道などの伝統的な芸事についての回答比率はやや低い傾向にある。趣味・娯楽等の活動については、着付けをできる者と比べると活動的とは言い難く、また、伝統的な文化に係る趣味との関わりは薄いことが分かる。

消費行動への意識については、家族や知人、困っている人がいれば助けたい・役に立ちたいと考える点は着付けができる者と近似しているが、リスクをできるだけ避けたいという価値観を持っている傾向が見られる。普段のメディア接触については地上波・BS放送、ラジオ、新聞、インターネットサイトやSNS等、幅広いメディア接触を行っている傾向が見られる。

3) 着物を着たことがないと回答した者の傾向

未経験者の場合、圧倒的に男性の方が未経験者の回答比率が高い。年齢別で見ると、18～20代が最も多く、次いで40代、30代と続き、若年者ほどに着物を着た経験がないことが分かる。

子供の頃の習いごとの経験を見ると、していないとの回答比率が高い傾向にある。また、趣味・娯楽等の活動も必ずしも積極的ではなく、消費行動の価値観やメディア接触への回答も、当てはまるものがないとの回答比率が高い傾向が見られる。

未経験者の傾向と特徴

次に、上記の属性分析を踏まえ、「経験あり」、「参加体験あり」、「未経験」、それぞれの回答者ごとに設けた設問の回答結果についてクロス集計を行い、回答者の特徴について更なる分析を行う。

はじめに、「未経験」と回答している者について分析を行う。上述の回答者属性に関する分析結果からは、「未経験」と回答した者については際立った特徴や傾向は見いだせなかった。加えて、今後の振興施策を考える上で、「未経験」と回答した者が、なぜこれまで着物の着付けを経験してこなかったのか、また、着物を着付けることに対してどのような意識を持っているのか、どのような体験方法や周知の実施をすれば参加体験等に繋げていく可能性を見いだすことができるのか、その検討のために分析を行う必要がある。

■未経験層の体験機会への参加意向

未経験と回答した者のうち、着物を着てみたいという意向を持つ回答者、体験意向がない回答者にはどのような特徴があるのか。趣味・娯楽等の活動内容、消費意識、メディア接触の設問とCQ16「参加してみたい和装の体験内容」とのクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。

CQ16では、体験内容として設定した選択肢には当てはまるものはないと72.3%が回答しており残りの27.7%については、体験内容によっては着物の着付けをしてもらいたいという意向を持っていると推察される。

まず、着物の着付けを体験してみたいとの意向を示した回答者について、クロス集計結果からその特徴を確認する。趣味・娯楽等の活動とのクロス集計結果からは、「上記の中で当てはまるものはない」と比べると、ほとんどの項目で全体平均と同じ程度の回答比率を示しており、「邦楽・民謡」、「お茶」や「お花」や「書道」の項目でも全体平均を少し上回っていることから、これらの活動に対して決して消極的ではないと推察される。

消費行動に対する価値観とのクロス集計結果を見ると、ほとんどの項目で、全体平均を上回る回答比率を示しており、明確な意見や嗜好性があることがうかがえる。この傾向は着付けができる者や着付けてもらって着物を着たことがあると回答した者の消費行動に対する価値観と近似している部分があり、「家族や友人・知人の役に立ちたい」、「困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい」、「流行っていないけれども、自分が面白いと思ったものは試してみたい」、と言った項目が合致している。

普段からのメディア接触とのクロス集計結果を見ると、消費行動に対する価値観と同じく、着付けてもらって着物を着たことがあると回答した者と近似した傾向、つまり、普段から幅広くメディアに接触している傾向が見て取れる。

次に、着物の着付けへの参加体験の意向がない者について、その特徴を確認する。CQ16で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者は、趣味・娯楽等の活動について「特に何もしていない」(32.1%)と回答しており、消費行動に関する設問でも、メディア接触についても、当てはまらない、特にしていないという選択肢を選ぶ割合が高い。このように、着物の着付けへの参加体験の意向がない者の特徴として、趣味・娯楽活動やメディアへの接触到に必ずしも積極的とはいえず、消費についての意識・意見をあまり明確に持っていない傾向が確認できる。

参加してみたい和装の体験内容×趣味・娯楽等の活動状況

(%)

	n=	共通設問1 趣味・娯楽活動の参加状況																		
		ジョギング・マラソン	バスケットボール	信をきく	動画鑑賞(レンタル、配信を含む)	邦楽、民謡	除く(スポーツ観戦(テレビは除く))	音楽鑑賞(配信、CD、FMなど)	音楽鑑賞(配信、CD、FMなど)	書道	お茶	お花	おどり(日舞など)	のテレビゲーム(家庭で)	ゲームセンター、ゲーム	パチンコ	サッカークジ(トット)	中央競馬	ボートレース(競艇)	SNS、Twitter、YouTubeなど
全体	10,160	8.8	1.1	12.4	1.0	7.6	14.8	0.5	0.3	0.3	0.1	8.8	2.3	4.3	2.0	5.7	1.4	4.7	25.3	
季節や場面に応じた着方や帯等の選び方や合わせ方を教えてくれる	994	16.8	2.2	20.5	2.2	13.1	24.8	1.2	0.8	1.3	0.1	13.0	5.9	5.0	4.6	7.9	2.6	10.0	7.0	
基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる	1,558	13.3	1.7	21.2	2.1	11.8	23.6	1.2	0.8	0.8	0.1	13.8	5.0	5.6	4.3	8.3	2.5	9.6	7.1	
着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる	1,017	13.2	1.5	22.1	2.0	14.4	24.9	0.9	0.9	0.8	-	14.6	6.9	5.8	4.5	8.8	2.7	10.6	6.2	
着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる	813	13.8	1.6	22.6	2.6	14.4	25.2	1.5	1.2	0.7	-	15.7	5.8	4.6	4.6	8.4	3.1	10.0	7.6	
普段の生活の中で、着物をどのように楽しんだら良いか教えてくれる	931	14.4	2.0	22.2	1.9	14.2	25.3	0.6	0.5	0.5	-	13.9	5.7	6.6	4.6	8.8	3.0	9.8	7.3	
その他	25	-	-	16.0	-	12.0	32.0	-	-	-	-	8.0	4.0	8.0	4.0	4.0	-	12.0	-	
上記の中で当てはまるものはない	7,342	6.7	0.9	10.3	0.7	6.1	12.8	0.3	0.2	0.1	0.1	7.6	1.5	3.8	1.5	5.0	1.0	3.5	32.1	

※n=30未満は参考値のため灰色

参加してみたい和装の体験内容×消費行動に対する価値観

(%)

	n=	共通設問5 消費行動に対する価値観																		
		周りや周囲の人から注目された	困っている人、助けが必要	環境問題・社会課題の解決に立ちたい	家族や友人、知人の役に立ちたい	リスクはできるだけ避けたい	チャンスを感じたら逃さない	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する	周りの考えをよきと取り、自分の考えを主張する
全体	10,160	21.2	18.5	17.4	34.3	16.7	7.0	13.2	2.2	3.3	8.7	3.1	19.2	2.5	2.6	32.5				
季節や場面に応じた着方や帯等の選び方や合わせ方を教えてくれる	994	38.6	31.8	34.5	48.6	31.2	17.1	26.6	4.0	7.6	19.6	6.8	35.6	5.8	4.5	5.0				
基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる	1,558	34.6	30.2	32.3	53.1	31.4	15.0	28.0	4.0	6.8	20.2	6.1	37.6	5.2	4.4	5.1				
着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる	1,017	34.3	32.0	36.7	54.0	33.7	18.0	29.6	5.2	8.9	23.1	7.0	40.2	6.5	4.9	4.6				
着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる	813	31.2	32.1	35.3	54.7	30.8	18.1	26.8	4.4	9.6	24.1	8.4	40.8	7.7	4.9	4.9				
普段の生活の中で、着物をどのように楽しんだら良いか教えてくれる	931	33.9	29.4	31.8	49.6	31.6	17.7	27.8	4.2	9.7	22.3	7.7	38.8	6.9	5.2	4.6				
その他	25	16.0	64.0	12.0	52.0	32.0	16.0	20.0	-	4.0	8.0	-	44.0	4.0	4.0	16.0				
上記の中で当てはまるものはない	7,342	16.5	15.5	13.0	30.5	12.8	4.8	9.7	1.6	2.2	5.8	2.1	15.1	1.7	2.0	42.7				

※n=30未満は参考値のため灰色

参加してみたい和装の体験内容×接触メディア

(%)

	n=	共通設問6 接触メディア																		
		Bテレビ(民放の地上波)	テレビ(BS)	チャンネルや衛星放送の	ラジオ(インターネット)	新聞(電子版含む)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)	雑誌・ネットウエイブ(インターネットを除く)
全体	10,160	62.5	33.0	8.2	12.1	21.8	5.1	40.8	33.1	25.4	14.3	5.3	6.3	5.7	10.2	18.1				
季節や場面に応じた着方や帯等の選び方や合わせ方を教えてくれる	994	78.5	44.8	12.2	19.3	30.1	10.3	54.6	49.7	39.1	26.7	10.1	12.4	11.1	17.4	2.2				
基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる	1,558	77.5	46.0	12.3	18.3	29.5	10.2	57.9	49.4	40.9	24.8	10.1	12.1	11.8	15.7	1.6				
着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる	1,017	76.3	47.0	13.1	19.6	30.0	12.5	59.2	50.6	41.3	26.9	10.3	12.6	11.8	16.8	1.5				
着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる	813	75.5	47.6	12.1	19.9	28.5	12.5	55.0	51.3	40.1	27.3	11.6	13.3	11.6	16.4	2.8				
普段の生活の中で、着物をどのように楽しんだら良いか教えてくれる	931	73.8	46.3	11.8	20.4	31.1	10.5	57.1	48.9	37.5	26.5	9.6	12.6	10.1	15.1	2.8				
その他	25	72.0	44.0	32.0	12.0	32.0	-	68.0	36.0	36.0	28.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-				
上記の中で当てはまるものはない	7,342	58.0	29.7	7.2	10.7	20.0	3.8	36.7	29.5	21.8	11.8	4.2	5.1	4.6	9.0	24.0				

※n=30未満は参考値のため灰色

■参加したい体験機会別に見た参加条件

CQ16「参加してみたい和装の体験内容」の各種の参加体験と、CQ17の「参加しやすい和装体験の条件」の関係を見ると、CQ16で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者では「わからない」が89.0%とほとんどを占める一方、実際に希望する体験機会がある者では、「わからない」という回答は極めて少ない。

希望する体験機会がある者での各参加条件への回答比率は、全体的に、平均より非常に高くなっている。特に「手ごろな参加費で参加できたら」については、どの体験を希望した者でも、回答比率が50%台から60%台となっており、最重要の条件となっていることが分かる。また、「着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる」体験機会を希望する者では、「体験に必要な費用や道具が明示されていれば」、「着付けや着付け方を体験する時の時間帯を調整してもらいやすければ」、「初心者だけが参加できるような機会があれば」、「体験する内容や雰囲気事前に確認できれば」、「指導者の教え方が分かりやすかったら」と多くの条件で、回答比率が、ほかの参加体験を希望する者に比して高くなっており、実際に和装を行う際に必要な具体的知識・技を求める者であるほど、細かな参加条件まで気にする傾向があることが分かる。

参加してみたい和装の体験内容×参加しやすい和装の体験条件

	n=	CQ17 参加しやすい和装体験の条件 (%)									
		えが家機事旅き手 て着族会が行たら く付やがイの先 れけやあべの観 たや人れト光 ら着付、で地 等、着や け身付、け催 を近なな 教人	き た ら な 参 加 費 で 参 加 で	が 体 験 に 示 さ れ て な い 費 用 や 道 具	す も ら い の 時 間 帯 を 調 整 し	着 付 け の 方 法 を 体 験 し	よ う な 機 会 が あ ら ば 参 加 で き る	事 前 に 確 認 で き る 内 容 や 雰 囲 気 を	や 指 導 者 の 教 え 方 が 分 か り	そ の 他	わ か ら な い
全体	10,160	9.8	8.3	14.8	6.4	4.0	9.0	5.3	5.8	0.6	66.7
季節や場面に応じた着物や帯等の選び方や取り合わせ方を教えてくれる	994	47.3	36.5	54.4	26.2	18.5	31.8	20.9	20.4	0.3	6.1
基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる	1,558	33.2	33.3	55.7	26.4	16.6	33.5	19.8	20.8	0.4	6.8
着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる	1,017	34.9	35.0	60.3	34.0	23.0	36.5	23.9	24.3	0.7	6.6
着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる	813	34.8	31.9	61.0	35.9	24.4	39.5	27.6	28.8	0.4	5.2
普段の生活の中で、着物をどのように楽しんだら良いのか教えてくれる	931	28.1	29.0	51.0	26.5	18.8	36.0	26.9	28.4	0.6	9.2
その他	25	12.0	8.0	20.0	8.0	4.0	16.0	12.0	12.0	56.0	28.0
上記の中で当てはまるものはない	7,342	2.2	1.7	3.7	1.0	0.5	2.5	1.4	1.9	0.5	89.0

※n=30未満は参考値のため灰色

■これまで和装を経験してこなかった理由と参加したい体験機会

CQ18「和装を体験したことがない理由」を見ると、「自分の趣味と合わない」(37.7%)、「興味がない」(33.1%)という回答比率が高く、着付け・着物自体に関心を持っていないことが体験に繋がっていない最大の理由となっている。次いで「そもそも知らなかった」13.8%、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」12.2%と続く。

これを、CQ16の和装の体験内容への参加意向との関係で見ると、CQ16で「上記の中で当ては

まるものがない」と回答した者では、「興味がない」(35.9%)と「自分の趣味と合わない」(48.1%)が、全体平均を上回っている。逆に、何らかの体験を希望した者では、「興味がない」「自分の趣味と合わない」という回答比率が全体平均より低く、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」という回答比率が、40%弱から40%台と、全体平均の12.2%に比して顕著に高い。

参加してみたい和装の体験内容×和装を体験したことがない理由

	n=	CQ18 和装を体験したことがない理由 (%)								
		そもそも知らなかった	興味がない	所や機会に体験できそうな場	か参加する時間がとれない	ある体験できる場所や機会が	分体験できる詳しい内容が	心が向いていない	自分の趣味と合わない	その他
全体	10,160	13.8	33.1	12.2	3.4	4.2	3.3	5.9	37.7	0.6
季節や場面に応じた着物や帯等の選び方や取り合わせ方を教えてくれる	994	22.3	23.4	40.9	11.5	15.1	10.1	11.8	7.3	1.3
基本的な着物の着付け方と着方のコツを教えてくれる	1,558	11.4	28.4	44.1	11.2	15.5	10.7	12.8	9.6	1.2
着物を着た時の適切な姿勢や歩き方、所作等を教えてくれる	1,017	10.9	25.0	44.7	14.4	19.1	13.4	15.2	10.0	1.3
着物のお手入れの仕方や保管の仕方を教えてくれる	813	11.8	22.0	43.8	14.8	18.7	15.6	16.1	9.8	1.6
普段の生活の中で、着物をどのように楽しんだら良いのか教えてくれる	931	11.4	24.5	39.3	12.2	16.1	14.0	16.4	12.0	0.9
その他	25	-	48.0	24.0	12.0	4.0	8.0	24.0	40.0	24.0
上記の中で当てはまるものはない	7,342	13.3	35.9	3.5	0.8	0.8	0.9	3.9	48.1	0.4

※n=30未満は参考値のため灰色

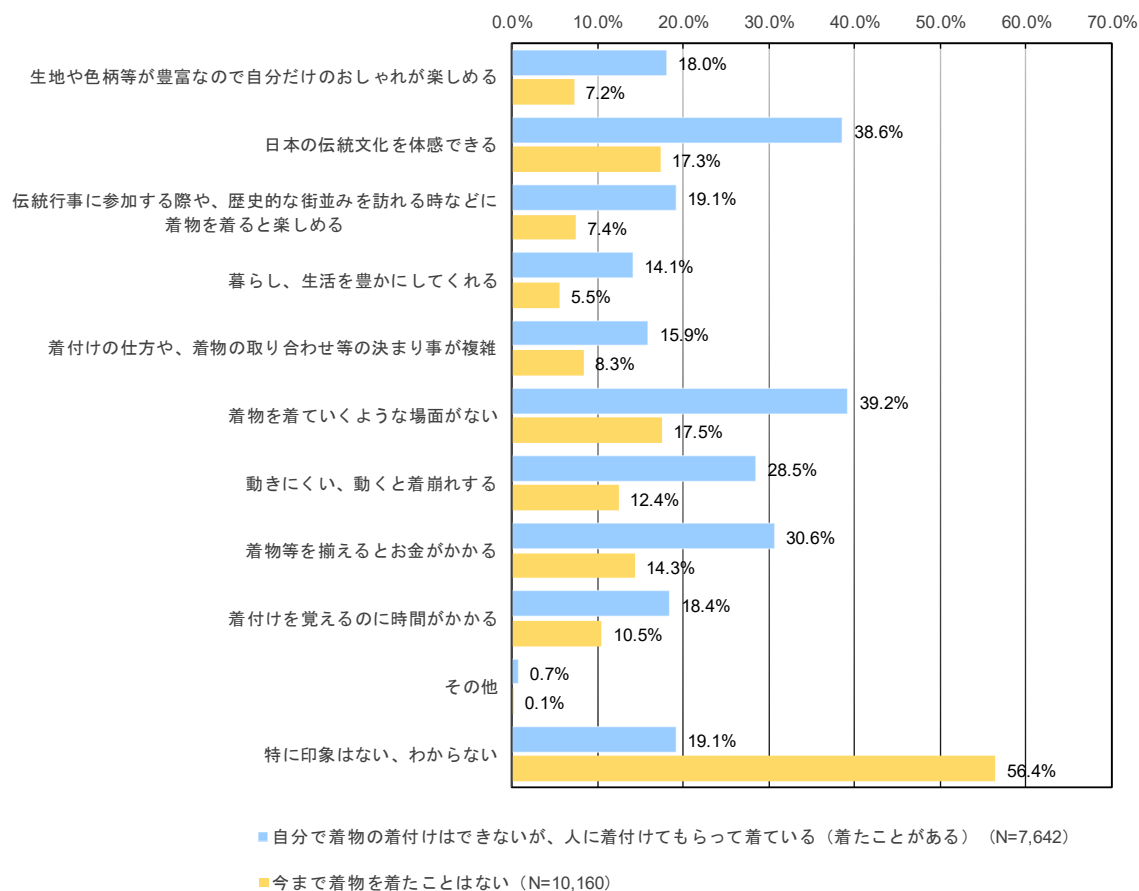
■ 「未経験」層と「参加体験あり」層の和装へのイメージの違い

CQ19の設問を見ると、「未経験」と回答した者では、和装のイメージとしては、「特に印象はない、わからない」(56.4%)の回答比率が高く、次いで「着物を着ていくような場面がない」(17.5%)、「日本の伝統文化を体感できる」(17.3%)、「着物等を揃えるとお金がかかる」(14.3%)、「動きにくい、動くと着崩れする」(12.4%)、「着付けを覚えるのに時間がかかる」(10.5%)と続いており、そもそも具体的なイメージを持っていない者が多い。この要因は、回答者が着物を着たことがない者であることから、具体的な内容や体験を経た上での印象を持っていないためと考えられる。

下のグラフは、着付けてもらって着物を着たことがある者のイメージ(CQ14)と未経験者のイメージ(CQ19)の回答結果を比較したものである。

CQ19とCQ14の結果の比較を見ると、「未経験」と回答した者と比べて「参加体験あり」と回答した者の「特に印象はない、わからない」の回答比率が低くなっていることから、参加体験をすることにより、和装・着付けについてのイメージが具体化しており、魅力と感じる部分も和装を難しく感じる部分も、どちらも回答比率が変化していることが分かる。

未経験者と参加体験者の和装に対する印象やイメージの違い



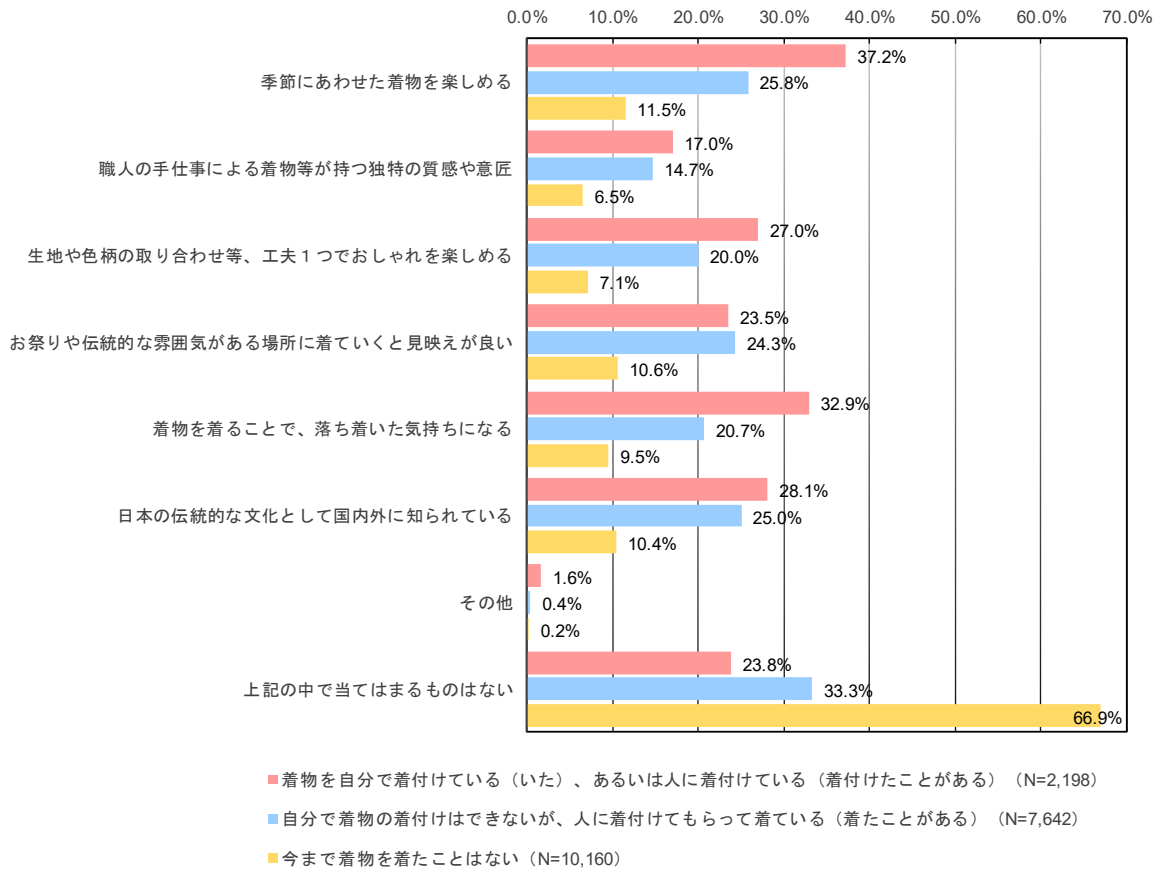
■ 「未経験」層と「参加体験あり」層、「経験あり」層の和装の魅力についての評価の違い

未経験者が和装に対する印象やイメージを具体的に描けないように、和装の魅力に対する設問（CQ8、CQ15、CQ20）にも同様の傾向が見られる。

下のグラフを見ても分かるように、着付け未経験者の回答者の約6割が、「上記の中で当てはまるものはない」（66.9%）と回答し、経験者と参加体験者の回答比率と比較しても大きな差がある。

このことはほかの魅力についてもいえ、参加体験者と未経験者を比較すると「季節にあわせた着物を楽しめる」、「生地や色柄の取り合わせ等、工夫一つでおしゃれを楽しめる」等、ほとんどの項目で回答比率に大きな差が見られることから、イメージや印象と同じく実際に体験をすることの重要性がうかがえる。

各回答者における和装に対する興味関心や魅力の違い



上記のクロス集計の結果から、着物を着たことがないと回答した者の傾向や特徴をまとめると、以下のとおりである。

1) 未経験者の体験機会ときっかけの傾向と特徴

着物を着たことがないと回答した者のうち、参加体験の意向を示さない者が72.3%いる一方、27.7%が体験内容に関する選択肢をいずれか選択しており、未経験者の中でも機会があれば参加したいという意向を持つ者がいる。

これら参加意向を示す者は、着物を着たことがないと回答した者と比べた場合、趣味・娯楽等の活動に対して決して消極的ではない者であり、消費行動への明確な意見を有し、普段から幅広いメディアに触れている傾向にあり、この点は着付けしてもらって着物を着たことがある者と近似する傾向にある。ただし、着付けができる者と比べると、茶道や華道、邦楽などの日本の伝統的な文化への参加率はあまり高くないことから、趣味・娯楽の活動として伝統的な文化への接触はやや低い傾向にある。

2) 未経験者が考える参加しやすい体験の条件と内容についての傾向と特徴

CQ16、CQ17のクロス集計の結果から、未経験者のうち、参加体験をしたいとの意向を示した者の40～60%が、身近な人に教えてもらいたい、手頃な参加費用の2点を参加体験の条件

としてとりわけ重視している傾向が見えてくる。

また、CQ16とCQ18とのクロス集計の結果からは、体験できなかった事情・理由として「気軽に体験できる場所がなかった」、「体験できる場所や機会があることを知らなかった」と回答し、参加体験の意向を持つ者の多くが、体験する機会を得ることができなかったことが分かる。

3) 和装の印象や魅力に関する傾向と特徴

着物を着たことがない者の場合、和装に対する印象や魅力について、未経験であるが故に、具体的なイメージや魅力は分からないという当然の結果が導かれた。その点を踏まえて、経験者や参加体験者との印象や魅力への回答の差を見ると、参加体験や経験を重ねることで、具体的な印象やイメージ、魅力を描くことができるようになること、また、経験を重ねた者ほど、着物を日本の伝統的な文化として捉えるようになっていたり、季節に応じた着物の取り合わせを楽しんだり、着物を着ておしゃれを楽しむことができるような点と魅力を結びつけられるようになっていく。

参加体験ありと回答した者の傾向と特徴

次に、参加体験ありと回答した者の回答傾向を分析する。参加体験をした者は、何らかのきっかけがあつて着付けを体験する機会を得ており、しかし、習うまでには至っていない者と捉えることができる。ではどのような状況で体験機会を得たのか、また、習うまでには至らない事情や理由等があるのかをクロス集計を用いてその傾向と特徴を分析する。

■参加体験者の体験のきっかけと機会

体験のきっかけ（CQ9）を問う設問の結果からは、着物を着たきっかけとして「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があつた」（59.1%）と圧倒的に回答比率が高く、次いで「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」（23.5%）、「家族や友人、知人などから着物を着ることを勧められた・誘われた」（12.0%）、「学校や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で体験イベントが行われていた」（8.6%）となっており、行事への参加をきっかけとして着物を着付けてもらった者が多い傾向にある。また、体験の場（CQ10）としては「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭」（72.3%）が最も多く、次いで「初詣等の年中行事」（17.3%）と続き、約9割が式典や年中行事への参加に際して、着物を着付けてもらったと回答している。

体験したきっかけと体験機会の関係性の特徴や傾向を明らかにするため、CQ9とCQ10のクロス集計の結果を以下に示す。

体験したきっかけとして最も多かつた「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があつた」（59.1%）と回答した者の中でも、「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭」（73.8%）が特に高い回答比率を示しており、式典への参加に際して着物を着装する機会が多い傾向にあることが分かる。

一方、「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」（23.5%）と回答した者では、「初詣等の年中行事」（43.2%）、「観劇の際や茶会等の催事」（35.1%）、「自宅」（39.6%）の回答比率が高く、家族での行事の折に和装をする機会を得たことも見受けられる。また、「家族や友人、知人などから着物を着ることを勧められた・誘われた」（12.0%）では、冠婚葬祭等を除く項目で全体平均を上回る回答比率であり、家族や知人からの勧めで催事に参加する際や観光の折にも着物を着付ける機会を得ていたことが分かる。

このほか、「学校や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で体験イベントが行われていた」（8.6%）では、学校の授業や呉服店でのイベントで体験機会を得ているほか、観光地等でも着付け体験が行われていることが確認できる。

和装を体験した場×和装を体験したきっかけ

(%)

	CQ9和装を体験したきっかけ										
	たど親 いがや た自兄 分弟 着妹 物・祖 着父 付母 けな	いと親 たがや 着兄 付け弟 の妹 指・祖 導父 をし母 てな	られ着 た物や ・誘わ れれこ と人な どめか	家族 や友人 、知人 などを 勧めか	わすれ 等てい たい 体験 け呉 イ教 ベ室 ン、等 ト文 が化 行施	学設 校等 や、 呉服 店等 が実 施	知画 つ、 レウ ビエ ヤ映 メ画 デ、 雑誌 ア等 で	に参 祭や 初詣 等必 要の 年等 あ中 つ行 た事	興和 味装 関に 係が あ仕 つ事 たや 職 業に	し野 ての い趣 味・ 習っ てい る事 と別 関の 係分	そ の 他
全体	7,642	23.5	4.3	12.0	8.6	4.4	59.1	2.7	8.1	2.6	
入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭	5,528	24.2	3.1	9.1	7.1	3.1	73.8	1.7	4.8	1.4	
初詣等の年中行事	1,321	43.2	8.3	21.6	10.1	5.2	51.2	4.2	6.3	1.9	
観劇の際や茶会等の催事	478	35.1	15.9	27.4	19.9	9.2	39.7	6.5	20.9	2.5	
旅行先の観光地	427	23.9	13.6	27.6	29.3	16.2	42.2	9.8	5.2	2.1	
学校の授業や、呉服店等が実施する着物に関するイベント	538	21.6	10.6	22.1	42.8	12.3	38.5	8.2	9.1	1.3	
自宅	847	39.6	7.8	22.3	6.8	6.4	40.0	6.4	10.7	4.6	
自分が行っている別の分野の趣味・習い事の中で体験	625	24.3	4.0	13.0	9.9	5.3	31.0	8.2	54.4	1.8	
その他	233	17.6	4.7	11.2	5.2	3.4	43.8	3.0	3.4	36.5	

■和装を習いやすい状況

和装を習いやすい状況（CQ11）に関する設問の結果では、「費用が手頃だったら」（34.6%）、「通いやすい場所で習えたら」（31.2%）の2つが重視されている条件となっている。一方、和装に支払える月額費用として、「5,000円未満」（79.7%）、「5,000円以上～10,000円未満」（14.5%）となっており、回答者の約94.2%が1万円未満の費用であれば習いやすいと回答している。

CQ11とCQ12のクロス集計の結果を見ると、「5,000円未満」（79.7%）を選択した者の中では、習いやすい状況として「わからない」（89.9%）の回答比率が高く、そもそも習う金額の相場等が分からないため「5,000円未満」を選択した可能性が高い。一方、5,000円以上の項目を見ると、「5,000円以上～10,000円未満」（14.5%）では「通いやすい場所で習えたら」（20.4%）が平均を上回っているほか、そのほかの項目でも全体平均を少し上回る回答比率となっている。

また、「10,000円以上～15,000円未満」（2.6%）でも「その他」、「わからない」を除く全ての項目で全体平均の回答比率を上回っており、和装を習いたいと考えている者は5,000円以上15,000円未満の金額であれば支払いやすいと考える傾向にあると推察される。

和装を習いやすい状況×和装に支払える月額費用

(%)

	n=	CQ12和装に支払える月額費用										
		5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 円 未 満	1 1 5 0 0 円 未 満	2 1 0 5 0 円 未 満	2 2 5 0 0 円 未 満	3 2 0 5 0 円 未 満	3 3 5 0 0 円 未 満	4 3 0 5 0 円 未 満	4 4 5 0 0 円 未 満	5 4 0 5 0 円 未 満	5 0 0 0 0 円 未 満
全体	7,642	79.7	14.5	2.6	1.0	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3
家族や知人等、身近な人から習えたら	1,573	76.4	18.0	2.8	1.4	0.6	0.2	0.1	0.1	-	0.2	0.1
通いやすい場所で習えたら	2,382	74.4	20.4	2.9	1.0	0.6	0.3	0.2	0.2	-	0.0	0.1
費用が手頃だったら	2,643	77.8	17.4	2.7	0.8	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0
着物をはじめ必要な道具等が借りられたら	1,612	73.9	18.5	3.7	1.1	1.1	0.7	0.4	0.3	0.1	0.1	-
習う時間帯を調整してもらいやすかったら	639	67.0	19.4	4.7	1.7	4.1	1.9	0.5	0.3	0.3	0.2	-
指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていたら	845	72.3	19.4	3.1	2.1	1.3	0.2	0.6	0.5	0.1	0.4	-
指導で教本やテキストを使っていたら	295	68.1	19.3	3.4	1.7	2.0	1.7	0.3	1.0	0.7	0.7	1.0
その他	102	89.2	8.8	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	2,880	89.9	7.8	1.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	-	0.0	0.5

n=30以上で

- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

次に、着物の着付けをこれまで習っていない理由（CQ13）に関する設問の結果では、「興味がなかった」(53.0%)の回答比率が最も高く、次いで「通いやすい場所に着付け教室がなかった」(17.3%)、「他の趣味や娯楽の方に興味が向いている」(15.0%)と続く。では、和装を習いたいと考えている者は、どのような状況であれば習いやすいと考えている傾向が見られるのか。CQ11の習いやすい状況とのクロス集計を行い、参加体験者が習いやすい状況について分析を行う。

習いやすい状況について「わからない」(37.7%)と回答した者のうち、習わなかった理由として「自分の趣味と合わない」(60.3%)、「興味がなかった」(53.1%)の回答比率が高く、着物を着たことはあっても興味関心を持たなかったことが分かる。

一方、参加しやすい状況として、「費用が手頃だったら」(34.6%)と回答した者が習っていない理由として、「習うための授業料等の費用が確保できなかった」(67.2%)が最も多く、次いで、「着付け教室等の雰囲気に分からなかった」(64.8%)と続き、授業料等の費用の問題と共に、教室の雰囲気が分からないと言った事情や、時間の確保の問題も習えなかった事情として回答比率が高い。また、「通いやすい場所で習えたら」(31.2%)と回答した者の場合を見ると、「通いやすい場所に着付け教室がなかった」(62.9%)の回答比率が全体平均より高く、そのほか「着付け教室等の雰囲気が分からなかった」(60.2%)「習うための十分な時間が取れなかった」(60.2%)も全体平均を上回っており、通いやすい場所にあることも条件として重要であるほかに、通いやすい時間に習いたい、教室の雰囲気を知っておきたいと言った面が、習いたいと考える者のハードルになりやすい傾向にあることがうかがえる。

経験ありと回答した者の傾向と特徴

着物の着付けができると回答した者の回答傾向について分析を行う。着物の着付けができる者はどのような経緯や場所で着付けを習い始め、どの程度の者が継続してきたのかを分析することで、着付けてもらって着物を着たことがある者と着物を着たことがない者との違いを明らかにする。

■始めたきっかけと継続性及び継続理由

着付けを習い始めたきっかけ（CQ1）の結果では、「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」（42.3%）が最も高く、次いで「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」（20.9%）、「和装に係る仕事や職業に興味関心があった」（12.9%）、「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった」（12.6%）、「友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた」（12.5%）がほぼ同率で並ぶ。着付けができると回答した者の身の回りには、着物を身に付けることができる親族がいたり、または着物が自分の趣味と関係していたりするなど、着物を着ることが身近にあったことで着付けを習い始めるきっかけが生み出される背景があったことが推察される。

次に、習い始めたきっかけ（CQ1）と現在の継続状況（CQ3）についてクロス集計を行い、始めたきっかけと継続率の関係を分析する。「現在も着付けを行っている」の回答比率が23.1%であるのに対し、「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」（46.8%）、「和装に係る仕事や職業に興味関心があった」（33.1%）の2項目で全体平均を大きく上回っていることが見て取れる。また、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」（29.6%）「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」（28.3%）の2項目も全体平均を上回っており、回答者自身の身近に着物を着る環境があって着付けを習い始めた場合や、仕事や興味関心として着付けを習った場合の継続率が高いことが分かる。

和装を習い始めたきっかけ×現在の継続状況

	n	CQ3 現在の継続状況 (%)	
		行現 つ在 ても い着 る付 けを	行現 つ在 では い着 ない 付け を
全体	2,198	23.1	76.9
親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた	930	26.8	73.2
親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた	158	46.8	53.2
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	275	25.1	74.9
学校の授業や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で行われたイベントで体験した	261	26.4	73.6
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	98	29.6	70.4
成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった	277	24.9	75.1
和装に係る仕事や職業に興味関心があった	284	33.1	66.9
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	460	28.3	71.7
その他	195	14.9	85.1

次に、継続理由に関する設問（CQ3補問1）では、「日本の文化だから」の回答比率が36.1%で最も高く、次いで「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」の33.1%、「着物の着付け方や取り合わせ方など、奥深い文化をもっと知りたい」19.9%、「一緒に楽しむ仲間がいる」17.9%、「指導者や教授者として活動したい（している）」17.8%と続く。

始めたきっかけ（CQ1）とのクロス集計を行い、継続する理由ときっかけの関係性について分析を行うと、まず継続理由として最も回答比率が高かった「日本の文化だから」（36.1%）と回答した者の中でも「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」（59.5%）が大きく上回っており、続いて「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要がある」（47.8%）とこちらも全体平均を上回る回答比率となっている。

また、「四季や行事によって着物を着分けて装うことが楽しい」（33.1%）と回答した者の場合、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」（50.8%）、「成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要がある」（50.7%）、「学校の授業や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で行われたイベントで体験した」（49.3%）、「和装に係る仕事や職業に興味関心があった」（45.7%）の項目で全体平均の回答比率を大きく上回る一方、「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」（27.0%）は全体平均を下回っている。

和装を習おうと思ったきっかけ×和装を続けている理由

		CQ3補問1 和装を続けている理由 (%)									
		動	日	一	を	し	し	習	そ	特	の
		指	本	緒	わ	し	し	習	他	に	上
		導	の	に	わ	を	を	っ		理	記
		し	文	楽	せ	着	着	っ		由	の
		た	化	し	物	物	着	っ		は	中
		や	だ	む	の	分	分	っ		な	で
		教	か	む	と	や	行	っ		い	当
		授	ら	む	な	け	事	っ		く	て
		者	だ	む	ど	け	よ	っ		う	は
		と	か	む	り	奥	よ	っ		ち	ま
		し	ら	む	り	方	こ	っ		に	る
		て	ら	む	、	や	と	っ		な	も
		い	ら	む	奥	取	と	っ		な	も
		る	ら	む	い	文	と	っ		な	も
		活	ら	む	取	化	と	っ		な	も
		動	日	一	を	し	し	習	そ	特	の
		指	本	緒	わ	し	し	習	他	に	上
		導	の	に	わ	し	し	習	他	に	記
		し	文	楽	せ	着	着	っ		理	の
		た	化	し	物	物	分	っ		由	中
		や	だ	む	の	分	や	っ		は	で
		教	か	む	と	け	行	っ		な	当
		授	ら	む	な	奥	事	っ		い	て
		者	か	む	り	方	よ	っ		く	は
		と	ら	む	り	や	こ	っ		う	ま
		し	ら	む	、	取	と	っ		ち	る
		て	ら	む	奥	文	と	っ		に	も
		い	ら	む	い	化	と	っ		な	も
		る	ら	む	取	合	と	っ		な	も
		活	ら	む	合		と	っ		な	も
n=											
全体	507	17.8	36.1	17.9	19.9	33.1	13.4	5.9	12.8	3.6	
親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた	249	24.9	42.6	18.9	20.1	40.6	14.9	3.6	9.2	2.4	
親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた	74	35.1	59.5	44.6	32.4	27.0	21.6	1.4	6.8	1.4	
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	69	27.5	42.0	36.2	30.4	36.2	20.3	1.4	8.7	1.4	
学校の授業や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で行われたイベントで体験した	69	20.3	43.5	44.9	40.6	49.3	26.1	2.9	7.2	1.4	
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	29	34.5	58.6	44.8	48.3	41.4	37.9	6.9	6.9	-	
成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要がある	69	20.3	47.8	23.2	31.9	50.7	27.5	7.2	8.7	5.8	
和装に係る仕事や職業に興味関心があった	94	21.3	44.7	19.1	31.9	45.7	27.7	6.4	16.0	2.1	
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	130	9.2	38.5	18.5	21.5	50.8	22.3	9.2	13.8	4.6	
その他	29	3.4	20.7	10.3	17.2	37.9	10.3	31.0	6.9	6.9	

※n=30未満は参考値のため灰色

着物の着付けから離れたきっかけや理由（CQ3補問2）を見ると、「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」（63.6%）が圧倒的に多く、「時間がなくなった」（15.1%）と「興味を失った」（14.3%）が続いている。

始めたきっかけ（CQ1）と離れたきっかけをクロス集計しその関係を分析すると、回答比率が最も高い「着物を着ていくような場面や機会がなくなった」と回答した者の場合、「成人式・結婚式

等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった」(83.2%)、次に「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」(69.0%)が全体平均を大きく上回っている。

このほかの項目では、「時間がなくなった」と回答した者の場合、「親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた」(25.0%)、「友人、知人から習うことを勧められた・誘われた」(24.8%)、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」(21.7%)と、全体平均より回答比率がやや高い。

和装を習おうと思ったきっかけ×和装から離れたきっかけや理由

		CQ3補問2 和装から離れたきっかけ (%)										
		時間がなくなった	近くに習う場所がなく	着物の相談等ができる場	興味を失った	経済的に続けるのが難し	健康面、体調面で続ける	と一疎遠になつた	面や物を着ていくようになった場	着崩れする、動きにくい	め着付けに関する仕事を辞	その他
n=30以上で												
全体+10pt以上												
全体+5pt以上												
全体-5pt以下												
全体-10pt以下												
	n=											
全体	1,691	15.1	8.1	3.7	14.3	5.4	7.3	6.2	63.6	9.2	5.7	4.7
親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた	681	15.7	7.6	3.7	15.0	5.4	8.5	6.3	69.0	11.3	2.6	3.5
親や兄弟姉妹・祖父母などが着付けの指導をしていた	84	25.0	15.5	10.7	7.1	6.0	13.1	8.3	52.4	11.9	3.6	3.6
友人、知人などから習うことを勧められた・誘われた	206	24.8	16.0	6.3	17.0	8.3	6.3	13.1	62.1	10.2	1.0	3.4
学校の授業や、呉服店等が実施する着付け教室、文化施設等で行われたイベントで体験した	192	19.3	14.6	5.7	13.5	6.3	8.3	6.3	66.1	10.9	3.6	4.2
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	69	21.7	11.6	4.3	13.0	8.7	5.8	10.1	56.5	18.8	7.2	2.9
成人式・結婚式等の冠婚葬祭や初詣等の年中行事に参加する必要があった	208	10.6	9.1	3.8	12.5	6.7	7.7	10.6	83.2	11.5	4.8	1.9
和装に係る仕事や職業に興味があった	190	16.3	9.5	6.8	12.6	8.9	12.1	10.5	57.9	7.4	21.1	1.1
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	330	14.8	6.7	3.9	13.9	5.8	9.7	7.0	63.0	10.0	8.8	3.3
その他	166	7.8	3.6	1.2	10.2	2.4	6.6	3.6	58.4	9.0	7.8	22.9

■活動内容

自分又は他者へ着付けをする機会(CQ5)の結果では、「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」(40.6%)の回答比率が最も高く、次いで「普段着として着物を着る時」(29.7%)、「親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時」(21.9%)、「初詣等の年中行事に参加する時」(21.4%)、「観劇の際や茶会等の催事に参加する時」(16.1%)、「仕事着として着物を着る時」(7.8%)、「仕事として、他者への着付けを依頼された時」(5.9%)と続いている。

現在の継続状況(CQ3)と着付けをする機会をクロス集計しその関係を分析すると、「現在も着付けを行っている」と回答した者の中でも、「仕事着として着物を着る時」(48.8%)と「観劇の際や茶会等の催事に参加する時」(47.2%)、「仕事として他者への着付けを依頼された時」(43.1%)の3項目で回答比率が高く、仕事着が着物である場合、また、着付けを仕事として行っている者が継続して着付けを行っているほか、催事に参加する際に着物を着付ける嗜好性がある者も継続している傾向が見られる。

次に、継続している年数(CQ4)と着付けをする機会をクロス集計しその関係を分析すると、「20年以上」(16.7%)とした回答した者の場合、「観劇の際や茶会等の催事に参加する時」(28.2%)、

「親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時」(28.1%)の回答比率が特に高く、そのほかの項目でも全体平均を上回っていることから、経験年数が長い者は特別な機会に着ることも含め普段から着付けを行っていることがうかがえる。

和装をする頻度(CQ6)と着付けをする機会をクロス集計してその関係を分析すると、「年数回程度」(17.3%)と回答した者の場合、「観劇の際や茶会等の催事に参加する時」(31.6%)の回答比率が高く、そのほか「初詣等の年中行事に参加する時」(26.1%)や、他者の着付けを行う回答比率も高い。

和装に関する月額費用(CQ7)と着付けをする機会をクロス集計してその関係を分析すると、月1万円以上支払っている比率が、「仕事着として着物を着る時」で35.5%と高く、「入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時」(15.5%)、「普段着として着物を着る時」(15.0%)で低い。

自分または他者へ着付けをする機会×現在の継続状況

	n=	CQ3 現在の継続状況 (%)	
		て現 い 在 る も 着 付 け を 行 っ つ	て現 い 在 な い は 着 付 け を 行 っ つ
全 体	2,198	23.1	76.9
普段着として着物を着る時	652	31.0	69.0
仕事着として着物を着る時	172	48.8	51.2
入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時	893	27.9	72.1
初詣等の年中行事に参加する時	471	31.0	69.0
観劇の際や茶会等の催事に参加する時	354	47.2	52.8
仕事として、他者への着付けを依頼された時	130	43.1	56.9
親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時	481	31.0	69.0
その他	243	9.9	90.1

自分または他者へ着付けをする機会×和装を続けている年数

	n=	CQ4 和装を続けている年数 (%)						
		1 年 未 満	1 ~ 3 年 未 満	3 ~ 5 年 未 満	5 ~ 1 0 年 未 満	1 0 ~ 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上	3 年 以 上 合 計
全 体	2,198	22.9	24.1	14.7	12.6	9.1	16.7	53.0
普段着として着物を着る時	652	21.3	20.9	14.1	14.0	10.6	19.2	57.8
仕事着として着物を着る時	172	12.2	26.2	16.9	11.0	13.4	20.3	61.6
入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時	893	17.1	23.0	14.2	13.8	11.4	20.5	59.9
初詣等の年中行事に参加する時	471	20.2	21.2	13.6	11.9	12.7	20.4	58.6
観劇の際や茶会等の催事に参加する時	354	6.8	18.1	14.7	16.7	15.5	28.2	75.1
仕事として、他者への着付けを依頼された時	130	10.8	13.1	19.2	13.1	17.7	26.2	76.2
親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時	481	12.3	18.5	12.7	15.6	12.9	28.1	69.2
その他	243	37.4	25.9	9.5	11.1	4.1	11.9	36.6

自分または他者へ着付けをする機会×和装をする頻度

	n=	CQ6 和装に関する活動頻度 (%)						
		ほぼ毎日	週に2〜3回	週1回程度	回数程度	月1回程度	年数程度	年1回程度
		全体	2,198	3.2	4.3	6.3	6.7	5.6
普段着として着物を着る時	652	6.1	4.9	7.1	6.3	7.5	20.1	48.0
仕事着として着物を着る時	172	14.0	23.3	5.2	14.5	8.1	15.1	19.8
入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時	893	2.5	3.7	8.0	7.1	6.2	18.7	54.0
初詣等の年中行事に参加する時	471	2.8	3.4	6.6	8.5	7.4	26.1	45.2
観劇の際や茶会等の催事に参加する時	354	2.5	6.5	7.9	11.9	10.7	31.6	28.8
仕事として、他者への着付けを依頼された時	130	10.8	12.3	7.7	10.8	7.7	25.4	25.4
親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時	481	2.7	4.0	7.1	6.2	6.0	23.1	50.9
その他	243	2.1	2.5	5.3	5.3	3.3	9.5	72.0

自分または他者へ着付けをする機会×和装に関する月額費用

	n=	CQ7 和装に関する月額費用 (%)											合計
		5000円未満	15000円未満	110000円未満	210000円未満	220000円未満	320000円未満	330000円未満	430000円未満	440000円未満	540000円未満	50000円以上	
		全体	2,198	69.9	15.4	5.5	2.9	1.3	1.1	0.7	0.4	0.5	
普段着として着物を着る時	652	69.6	15.3	5.5	3.1	1.4	1.1	0.9	0.3	0.3	0.5	2.0	15.0
仕事着として着物を着る時	172	42.4	22.1	11.6	6.4	2.3	1.2	2.3	0.6	1.2	0.6	9.3	35.5
入学式や成人式、結婚式等の冠婚葬祭に出席する時	893	67.0	17.6	6.3	3.2	1.3	0.9	0.6	0.2	0.3	0.1	2.5	15.5
初詣等の年中行事に参加する時	471	62.2	16.8	7.4	4.5	2.1	1.5	1.1	0.6	0.6	0.2	3.0	21.0
観劇の際や茶会等の催事に参加する時	354	50.8	22.6	8.5	7.3	2.5	2.0	1.4	0.8	0.3	0.3	3.4	26.6
仕事として、他者への着付けを依頼された時	130	50.0	18.5	11.5	3.8	3.1	2.3	2.3	0.8	2.3	-	5.4	31.5
親族や知人等に、他者への着付けを依頼された時	481	64.4	15.8	6.4	3.3	1.2	2.1	0.8	0.2	0.8	0.8	4.0	19.8
その他	243	87.7	7.4	1.6	1.2	0.8	0.8	-	-	-	-	0.4	4.9

■経験年数

和装の経験年数（CQ4）を見ると、「1〜3年未満」（24.1%）が最も回答比率が高く、次いで「1年未満」（22.9%）、「3〜5年未満」（14.7%）となっている。また、経験年数が長いほど「現在も着付けを行っている」という回答が多い。

経験年数（CQ4）と始めたきっかけ（CQ1）との関係をクロス集計から分析すると、「親や兄弟姉妹・祖父母などが自分で着物を着付けていた」と回答した者の場合や、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」と回答した者で10年以上の経験年数を回答している割合が高い。

次に、経験年数（CQ4）と習い始めた当初の習い方を選んだ理由（CQ2補問）との関係をクロス集計から分析すると、「特に理由はない、わからない」（20.6%）と回答している者の中でも、「20

和装を続けている年数×和装に関する興味関心や魅力

(%)

		CQ8 和装に関する興味関心や魅力									
		し 季 め る に あ わ せ た 着 物 を 楽	匠 等 職 人 が 持 つ 独 特 の 質 感 や 意 物	を 楽 し め る 1 つ の 取 り 合 わ れ せ	生 地 や 柄 の 取 り 合 わ れ せ	見 映 え が 良 い に 着 て い く と 気	お 祭 り や 良 所 に 着 て い く と 気	着 物 を 着 る こ と に な る 、 落 ち	て 日 本 の 外 に 統 知 的 な 文 化 と し	そ の 他	の 上 は 記 事 中 で 当 て は ま る も
n=30以上で	n=										
全体+10pt以上											
全体+5pt以上											
全体-5pt以下											
全体-10pt以下											
全 体	2,198	37.2	17.0	27.0	23.5	32.9	28.1	1.6	23.8		
1年未満	504	25.8	9.1	16.5	17.9	23.2	21.8	1.0	36.5		
1～3年未満	529	33.5	16.6	23.4	25.3	30.6	26.3	0.8	21.0		
3～5年未満	324	38.9	17.3	29.6	26.2	33.0	26.5	2.2	20.4		
5～10年未満	276	43.8	20.3	31.2	27.5	38.4	30.4	0.4	19.2		
10～20年未満	199	44.7	23.1	38.7	26.1	39.7	38.7	3.0	15.6		
20年以上	366	47.5	22.4	34.7	21.6	41.8	33.3	3.6	21.3		

上記のクロス集計の結果から、和装の経験ありと回答した者の傾向や特徴をまとめると、以下のとおりである。

1) 習い始めたきっかけと継続率に見える傾向と特徴

親族が着物の着付けの指導をしていたことや、仕事として興味関心を持っていたことをきっかけとして着物の着付けを習った者の継続率が特に高い傾向にあり、自分が関わっている趣味やメディアを通じて興味関心を持って着付けを習い始めたと回答した者の継続率も高いことがうかがえる。このうち、親族が着物の着付けを指導していたと回答した者は、自身が着付けの指導者として活動している率が全体平均より高い傾向にある。

一方、習い始めたきっかけと辞めてしまった理由との関係を見ると、冠婚葬祭等への出席をきっかけとして着物の着付けを習った者については、着付けを身に付けていく場面や機会がなくなってしまったことで、着物を着付けなくなったと回答している傾向にある。

2) 活動内容と継続している年数から見える傾向と特徴

着物を仕事着として身に付けている場合や、仕事で他者に着付けを行う者といった、自身の仕事と着物が密接に関係している者のほか、催事に参加する折に着物を身に付けて出かける嗜好性がある者も継続して着付けを行っている傾向が見られる。

また、経験年数20年以上の者の場合、観劇や年中行事などで身に付けるという回答比率が高いほか、ほかの機会にも着物を身に付けるという傾向が見え、普段から着付けを行っていることがうかがえる。

3) 経験年数と習い始めたきっかけや魅力から見える傾向と特徴

経験年数と習い始めたきっかけとの関係を見た場合、親族等が着物を着付けていた場合や、自分の趣味等との関わりで着物の着付けを習った者ほど、経験年数が長い傾向が見られる。

また、習い始めた当初の方法と経験年数の関係からは、経験年数が長いもしくは1年未満の経験年数と回答した者で、特に理由がないとの回答比率が高く、身近に教えてもらえる人がいたり、普段から自然に着物を着たりしていて、教室などに通って習うような学び方をしていなかったことも推察される。

経験年数と興味関心や魅力との関係を見ると、経験年数が長くなればなるほどに、季節に応じた着物の楽しみ方、着物などの取り合わせ方など、自分でどのように着物を組み合わせて楽しむかを和装の魅力・興味関心として捉える傾向にある。1年未満の経験年数では、当てはまるものがないとの回答比率が高くなっていることから、経験を重ねることで和装の魅力を感じるようになっていくものと推察される。

③分析結果のまとめ

和装の経験・体験の有無や、経験者や参加体験者、未経験者の和装の活動状況や興味関心の度合いを把握することを目的としてウェブアンケートを利用した調査を実施した。

調査結果からは、着物を身に付けたことがない者が半数ほどいること、また、身に付けたことのある者の中で、多くの者は着物を着付けてもらっている実情が明らかになった。未経験者が多いことについては、設問群の回答結果からも分かるように、興味関心が持てない、自分の趣味に合わない者が数多くいる一方で、そもそも着物を知らなかった者がいること、また、体験できる場所や機会がなかった、あるいはそのような場や機会そのものを知らなかった結果、参加体験に至らなかった者もいることも明らかになった。

経験者の場合、親族が着物を身に付けていた、あるいは、自分の趣味と着物に関わりがあったりしたことが、着付けを習い始めるきっかけとなったことが分かる。一方、参加体験者の多くは、成人式などの冠婚葬祭へ参加の折に着物を着る機会を得ている傾向が強く、経験者・参加体験者・未経験者のそれぞれに、和装を知る機会、接することができる機会や環境に大きな開きがあることが、調査結果の分析から見えてくる。

経験者の活動状況等については、約7割は継続していない状況で、継続している者については仕事着として着物を着装している者や着付けを指導している者、催事などに出かける際に着物を身に付けている者が多い傾向にある。一方で、継続していない者が続けられなかった事情からは、着物を着ていく場や機会が無くなったとの回答比率が高く、着物が普段着ではなく、催事や行事の折に身に付けていく特別な衣装としての側面が強く認識されているものと推察される。また、時間がなくなった、習う場所がなくなった等の事情もあることが傾向として見え、着物を着ていきやすい、着物を着ていきたいと思える催事や機会が増えたり、回答者の環境が整ったりすれば、着物を着ることを再び始める可能性があることも推察される。

着付けをしてもらって着物を身に付けたことがある者については、着付けをしたきっかけと体験した機会のクロス集計から、冠婚葬祭への出席が着物を着る、とりわけ大きな体験機会となっていることが分かる。このほかにも、親族が着物を着ていた場合には、年中行事の折や自宅、観劇や茶会への参加の折に着物を着る機会を得ているほか、友人・知人から勧められた場合では、観劇等への参加、観光地を訪れた際や、着物イベント等、きっかけによって冠婚葬祭以外にも着付けの体験機会があることが確認できる。

また、着物を着付けてもらったことがある者が、これまで着付けを習うに至らなかった理由や事情からは、着物を着ても興味関心を持てなかった者もいる一方で、通いやすい場所や時間帯、教室の雰囲気分かるようになると習ってもよいと考えている者が一定数いることも確認できた。このことから、着付けの指導を行っている者が日時や調整が可能かどうかを告知したり、教室等の見学

ができる機会を設けたりするなど、無理のない範囲で工夫を行うことで、習いに行きたい人に広く機会を提供できる可能性があることが分かる。その一方で、通いやすい場所や費用が手頃な方が良い、という観点から考えれば、着付け教室に通う方法以外にも、身近に着物の着付けを知っている者がいれば、そういった者に着付けを教えてもらうことも、無理なく着物に親しみ、着付けを習ったり体験したりすることができる一つの方法であると考えられる。

上記の結果から、着物を着てもらい興味関心を持つ者を増やしていくことを想定した場合、すでに行われている、着物の着付けを体験できるイベント等の機会を広く周知することはもちろんのこと、どのような体験ができるか等も詳しく伝えることで、体験参加者を増やす可能性が広がるものと推察される。

現在では、着物を着装する機会は、冠婚葬祭など特別な機会に限られていることが多くなっている。しかしながら着物は着装を楽しめる文化であり、着付け方や着物の種類を覚えることで、普段の生活でも場面や四季に応じた取り合わせなどを楽しむことができる。このように様々な魅力を持っていることを、イベント等の折に丁寧に発信することも、和装に興味関心を持ってもらうために必要な取り組みであると考えられる。